

総務委員会 情報連絡

令和7年6月30日

情報連絡事項

頁

1	デジタル情報媒体の活用状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	「あだち安心電話」及び「あだち安心FAX」の発信訓練の結果について・・	4
3	令和7年全国広報コンクールの結果について・・・・・・・・・・・・	8
4	アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「千住・人情芸術祭 1DAYパフォーマンス表現街」の開催結果について・	10
5	あだち虹色寄附 令和6年度の実績報告について・・・・・・・・・・・・	11
6	令和6年度プレスリリースサイトを活用した情報発信の実績について・・・・	15
7	令和6年度区内六大学との連携事業一覧について・・・・・・・・・・・・	18

【参考】《子ども・子育て支援対策調査特別委員会 報告事項》

※資料は、子ども・子育て支援対策調査特別委員会（政策経営部）の報告資料にあり

- 1 足立区こども計画審議会の進捗状況及び今後のスケジュールについて
- 2 児童・生徒が自由に意見できる環境の整備に向けた試験実施結果について
- 3 令和7年度夏休み期間中における体験講座等の無料化事業「あだちワークわーく in Summer」について
- 4 「高校生世代応援支援金」の申請状況について
- 5 令和7年度「アダチ若者会議」の実施について
- 6 夢・やりたいこと発見プロジェクト「モギ社会人1年目」の実施について

【参考】《エリアデザイン調査特別委員会 報告事項》

※資料は、エリアデザイン調査特別委員会（政策経営部）の報告資料にあり

- 1 エリアデザインについて
- 2 綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（綾瀬ゾーン）の取組み状況について
- 3 綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（北綾瀬ゾーン）の取組み状況について
- 4 花畑エリアデザインの取組み状況について
- 5 六町エリアデザインの取組み状況について
- 6 江北エリアデザインの取組み状況について
- 7 西新井・梅島エリアデザインの取組み状況について
- 8 竹の塚エリアデザインの取組み状況について
- 9 千住エリアデザインの取組み状況について

（ 政策経営部 ）

総務委員会情報連絡

令和7年6月30日

件名	デジタル情報媒体の活用状況について																								
所管部課名	政策経営部 報道広報課																								
内容	令和6年度の主なデジタル情報媒体の活用状況及び令和7年4月に追加したデジタル情報媒体について報告する。																								
	1 令和6年度の活用状況																								
	<table><tr><th>NO.</th><th>媒体</th><th>登録（フォロワー）数 （令和7年3月末時点）</th><th>発信数等</th></tr><tr><td>1</td><td>LINE</td><td>72,104 （対前年+11,074）</td><td>1,115 （A-メール自動連携含む）</td></tr><tr><td>2</td><td>A-メール</td><td>88,398 （対前年▲4,341）</td><td>1,017 （自動連携含む）</td></tr><tr><td>3</td><td>X(旧 Twitter)</td><td>48,649 （対前年+6,839）</td><td>3,427</td></tr><tr><td>4</td><td>Facebook</td><td>7,459 （対前年+774）</td><td>2,439</td></tr><tr><td>5</td><td>YouTube</td><td>11,105 （対前年+1,003）</td><td>広報番組等配信のほか 成人式等ライブ配信</td></tr></table>	NO.	媒体	登録（フォロワー）数 （令和7年3月末時点）	発信数等	1	LINE	72,104 （対前年+11,074）	1,115 （A-メール自動連携含む）	2	A-メール	88,398 （対前年▲4,341）	1,017 （自動連携含む）	3	X(旧 Twitter)	48,649 （対前年+6,839）	3,427	4	Facebook	7,459 （対前年+774）	2,439	5	YouTube	11,105 （対前年+1,003）	広報番組等配信のほか 成人式等ライブ配信
	NO.	媒体	登録（フォロワー）数 （令和7年3月末時点）	発信数等																					
	1	LINE	72,104 （対前年+11,074）	1,115 （A-メール自動連携含む）																					
	2	A-メール	88,398 （対前年▲4,341）	1,017 （自動連携含む）																					
	3	X(旧 Twitter)	48,649 （対前年+6,839）	3,427																					
	4	Facebook	7,459 （対前年+774）	2,439																					
	5	YouTube	11,105 （対前年+1,003）	広報番組等配信のほか 成人式等ライブ配信																					
	2 令和7年4月からの新たな取組み																								
（1）Instagram																									
ア 運用開始日																									
令和7年4月23日（水）から																									
イ 投稿内容																									
① 広報紙発行のお知らせ																									
② イベント情報																									
③ その他の行政情報 等																									
ウ 運用方法																									
① 区の職員による投稿																									
② X（旧 Twitter）や Facebook 同様にSNS管理ツールで投稿																									
エ 今後の展開																									
（ア）投稿内容に対するエンゲージメントやアカウントのフォロワー数などの分析を適宜行っていく。																									
（イ）分析結果を基に、区民が興味のある投稿内容にブラッシュアップするとともに、運用方法の再構築を検討する。																									
（ウ）上記（イ）に加え令和7年度中に、外部事業者による研修や伴走支援を委託により行う。																									

(2) 地域情報アプリ「Lorcle（ロークル）」（中日新聞アプリ）

ア 運用開始日

令和7年4月23日（水）から

イ 掲載内容

① 区ホームページに掲載している「ニュースリリース」

② Aメールで配信する災害情報等（プッシュ通知）

ウ 運用方法

（ア）ニュースリリースは、RSS連携（ホームページ等の情報を自動で取得して掲載する技術）による自動掲載

（イ）Aメールは、Lorcle 側で以下のジャンルを受信し掲載

重要なお知らせ、災害情報・気象警報、地震情報（震度5弱以上）、
河川の増水氾濫情報、夏の重要なお知らせ（熱中症・電力情報）

※ 足立区の情報を受信するには、取得する地域を「足立区」に設定する必要あり。

Lorcle 画面例



掲載する Aメールのジャンルの情報が配信された場合は、以下のアイコンが出る。タップすることで内容の確認が可能。



区ホームページに掲載するニュースリリースを掲載

※ 画面は、中日新聞社の仕様変更により変わる場合がある。

3 今後の取組み等

(1) 新たに追加したデジタル情報媒体について、ホームページやその他の広報物等で周知をしていく。

(2) 今後も、区民サービスが更に向上するようなデジタル情報媒体がないか調査、研究を続けていく。

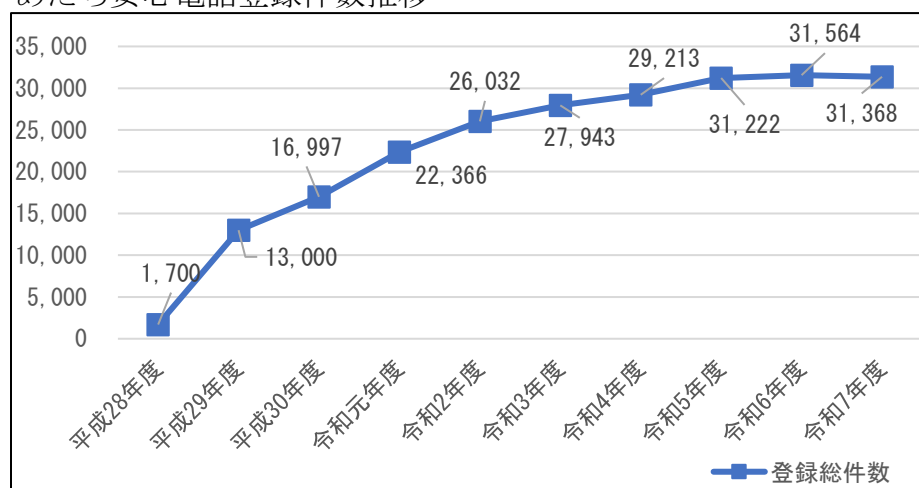
総務委員会情報連絡

令和7年6月30日

件 名	「あだち安心電話」及び「あだち安心FAX」の発信訓練の結果について
所管部課名	政策経営部 報道広報課
内 容	「あだち安心電話」及び「あだち安心FAX」の発信訓練を実施したので報告する。 1 「あだち安心電話」及び「あだち安心FAX」の概要 (1) あだち安心電話 ア 対象 インターネット接続端末を持っておらず、A-メールや LINE など 情報が取得できない方。 イ システム内容 大雨や台風の際に、河川の水位や避難情報などを電話で登録者に自動音声でお知らせするシステム。河川の増水時は、申し込み時の住所で一定のエリアを絞り、氾濫しそうな地域を優先に発信する。6月1日現在31,368件の登録があり、発信には1件あたり約1秒を要する。 ウ 周知方法 転入者向け冊子（あだち はじめてガイド）、ホームページへの掲載のほか、毎年、福祉管理課が実施している「災害時安否確認申出書」と併せて案内を発送している。また、発信訓練を実施する際は、対象地域の町会の回覧板を活用して周知している。 (2) あだち安心FAX ア 対象 聴覚に障がいのある方や、聞こえづらい方 イ システム内容 あだち安心電話のFAX版。6月1日現在424人の登録があり、デジタル通信のため数秒で発信が終了する。 ウ 周知方法 転入者向け冊子（あだち はじめてガイド）、ホームページへの掲載のほか、毎年、福祉管理課が実施している「災害時安否確認申出書」と併せて案内を発送している。

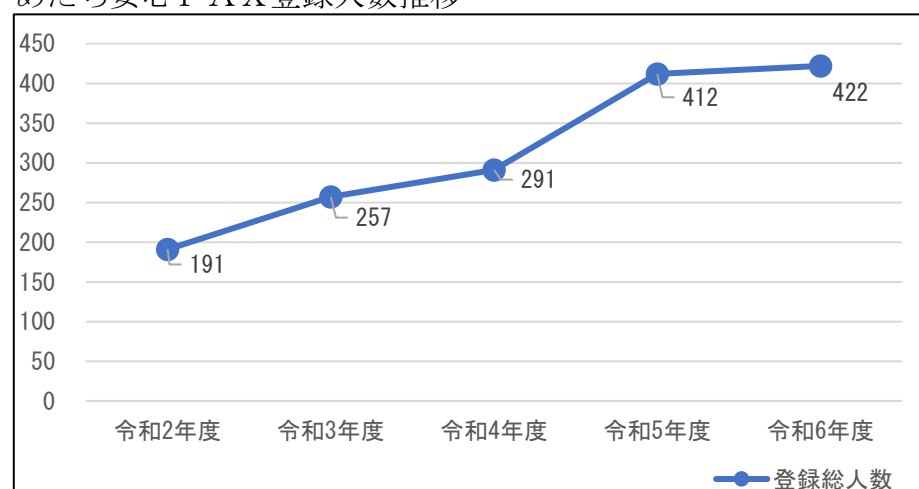
2 あだち安心電話及びあだち安心FAXの登録者推移

(1) あだち安心電話登録件数推移



※ 平成28年度は試験運用とし、町会・自治会の役員や介護施設などに登録推奨を実施。平成29年度から、希望する全ての区民の方や事業者を対象とした。

(2) あだち安心FAX登録人数推移



※ 令和2年度から運用開始。令和5年度は、3年に一度の区内の要支援者全員を対象に災害時安否確認申出書を発送する年だったため、増加人数が多い。なお、そのほかの年は、新たに要支援者になった方を対象に災害時安否確認申出書を発送。

3 発信訓練について

(1) あだち安心電話は、毎年2回、出水期前及び11月頃にそれぞれ2地区程度（基本的に地区町自連単位）、災害時に備えて発信訓練を行っている。発信訓練を行う地域は、過去に訓練を行っていない地域で河川に近い地域を優先的に行う。

なお、区内に25地区町自連があるため、おおむね6年に1回の頻度で発信訓練の対象となる。

(2) あだち安心FAXは、毎年1回、出水期前に全件配信訓練を行う。

4 訓練目的

- (1) 河川水位の上昇時に電話がかかってくること又はFAXが送信されることを日頃から意識していただく。
- (2) 登録されている番号に、正確に発信できるか確認する。

5 発信内容

水害発生のある恐れがある場合に、あだち安心電話又はあだち安心FAXから避難情報等の発信がある旨のお知らせをする。

【発信内容（例）】

これは訓練です。避難の必要はありません。あだち安心電話（あだち安心FAX）では、台風などにより、河川の水位上昇・氾濫のおそれがある場合、避難情報などをお知らせします。いざというとき、自らの身を守るため、ハザードマップを確認するなど、日頃から備えましょう。

6 あだち安心電話の訓練実施地区、日時及び対象件数

(1) 実施地区

花畑地区町会・自治会連合会の地域であだち安心電話に登録している方（花畑一丁目、花畑二丁目の一部、花畑三丁目、花畑四丁目の一部、花畑五丁目の一部、花畑六丁目、花畑七丁目、花畑八丁目、南花畑四丁目の一部、南花畑五丁目の一部、保木間五丁目の一部）

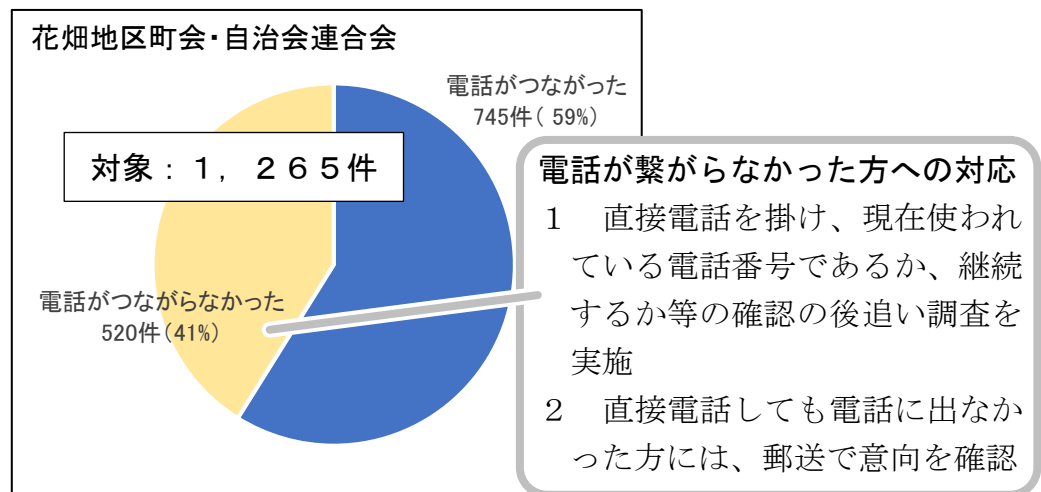
(2) 実施日時

令和7年5月21日（水）午後3時から発信

(3) 対象件数

1, 265件

7 あだち安心電話の実施結果



8 あだち安心FAXの訓練実施日時及び対象人数

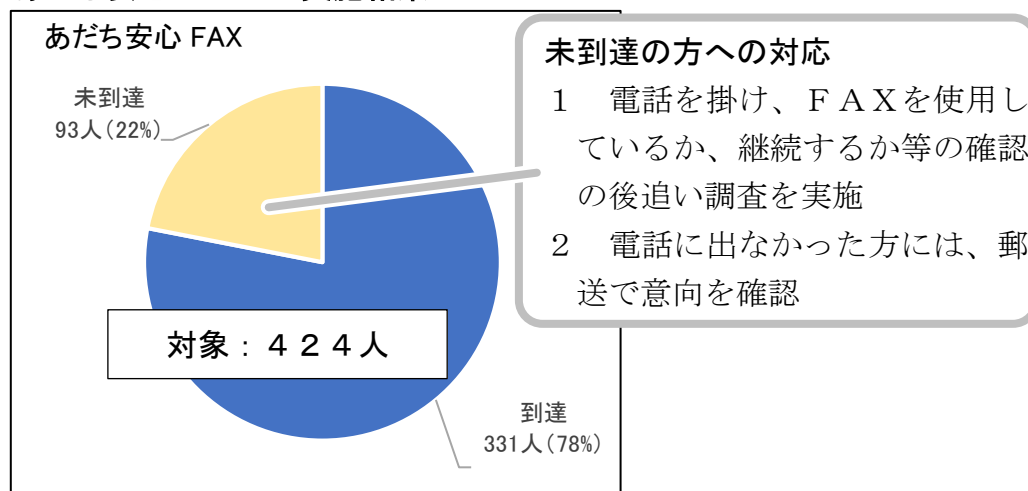
(1) 実施日時

令和7年5月21日（水）午後3時から発信

(2) 対象人数

424人

9 あだち安心FAXの実施結果



10 問題点、今後の取り組み等

(1) あだち安心電話の後追い調査の詳細

- ア 520件のうち、何も操作されなかった439件を対象に実施する。
 イ 残りの81件は、「発信中に受信者が切断した(携帯電話で着信している時に拒否ボタンを押した)」であり、電話が使用されていることが判明しているため、後追い調査は行わない。

(2) 前回のあだち安心電話での後追い調査の傾向と対応状況

前回(令和6年10月実施分)の「何も操作されなかった方」(599人)の後追い調査の傾向及び対応は、以下のとおり。

登録者の意向	傾向	対応
継続の意向	約19%	継続
脱退の意向又は電話が使われていない	約36%	名簿から削除
後追い調査でも電話に出ない	約45%	郵送で意向を確認

(3) 郵送調査の結果

令和6年度末にあだち安心電話の後追い調査でも電話に出なかった、454件(令和6年5月及び10月実施分)に郵送による意向調査を実施し、以下の結果となった。なお、郵送による調査は、今後も継続する。

登録者の意向	傾向	対応
継続の意向	約43%	継続
脱退の意向	約6%	名簿から削除
返信なし又は宛先不明	約51%	名簿から削除

※ 割合は、小数第一位を四捨五入しているため合計の数が100%にならない場合がある。

(4) あだち安心FAXの後追い調査(新規)

今回、初めて実施する。なお、FAX未到達全ての方を対象に後追い調査を実施し、電話で確認できなかった方には、郵送で確認を実施する。

総務委員会情報連絡

令和7年6月30日

件名	令和7年全国広報コンクールの結果について
所管部課名	政策経営部 報道広報課、シティプロモーション課
内容	令和7年全国広報コンクールにおいて、下記の成績を収めたので報告する。 1 映像部門 (1) 受賞作品 「あだちの“おいしい給食”～宇宙人くん、日本一のヒミツを知る～」 ※ 令和6年1月J：COM 足立で放送した広報番組 ※ 現在、足立区公式チャンネル「動画 de あだち」(YouTube)で視聴可能 (2) 受賞内容 全国入選2席(全体3位)、読売新聞社賞 (3) 経緯 ア 令和6年度東京都広報コンクールにおいて最優秀を受賞し、東京都から全国広報コンクールに推薦された。 イ 全国から46点の出品があり、特選1点、入選1席から3席各1点、入選6点、佳作1点の合計11点が選ばれ、足立区の作品は入選2席(全体3位)に選出された。 ウ あわせて読売新聞社賞をダブル受賞した。 (4) 番組概要 ア 平成19年度にスタートした事業「おいしい給食」を題材に広報番組史上初のドラマ仕立てで制作。 イ 事業の始まりのエピソードや栄養士の奮闘、意外な食材を使った人気メニューなどを紹介。 ウ 区内のキッズパフォーマンス集団「一般社団法人ほしかぜ」(主に区内の小学生が活動)が演じた。    ※ 画像は番組の一部シーン

2 広報企画部門

(1) 受賞企画

区外プロモーション「ワケあり区、足立区。」

(2) 受賞内容

入選

(3) 経緯

全国73点の出品があり、特選1点、入選11点の合計12点が選ばれ、足立区の作品は入選に選出された。

(4) 企画概要

ア 治安をはじめとする課題の改善により、足立区民の満足度は高まっている一方で、区外在住者からのイメージは依然として低い状態。

イ こうした現状を打破するため、マイナスイメージを逆手に取ったキャッチコピー「ワケあり区、足立区。」のもと、広く区外へ足立区のプラスのワケを発信する取り組みを開始した。

ウ 令和6年5月のキャッチコピーの発表会で大きな話題を作って以降も、年間を通じて話題を途切れさせないプロモーションを展開することで、継続的なメディア露出等に繋げ、足立区の魅力を区外在住者へ届けることに成功した。

エ こうした取り組みの結果もあり、足立区のイメージを《良い》と答えた区外在住者の割合は、令和5年度の20.7%から25.4%に上昇した。

※ 令和6年度実施「足立区に対するイメージ調査」より

ワケあり区、足立区。

「足立区は治安が悪い」
と思っているそのあなた、それは過去のことです。
足立区の刑法犯検挙件数は、ピーク時から約8割減少。
「治安が良い」と思う区民の割合も約6割となりました。
一方、足立区外にお住まいの方で足立区の「治安が良い」と思っているのは
わずか7.4%と1割にも満たない現状。
しかも、悪いイメージを持った理由を伺うと、
「なんとなく」や「メディア等の情報」との回答が約7割を占めています。
笑顔あふれるファミリー、イキイキとした起業家、街の魅力を楽しむ学生。
足立区には、多くの人に愛される「ワケ」があります。
こうした「ワケ」を1人でも多くの方に知っていただきたいのです。

こんな足立区、らしくないですか？

足立区 ワケあり区

3 今後の取り組み等

今後もあらゆる情報発信媒体を活用し、区内外に足立区の魅力をPRしていく。

総務委員会情報連絡

令和7年6月30日

件名	アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「千住・人情芸術祭 1 DAY パフォーマンス表現街」の開催結果について
所管部課名	政策経営部 シティプロモーション課
内容	東京藝術大学・特定非営利活動法人 音まち計画・足立区の3者共催による区民参加型アートプロジェクト「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」のイベント開催結果について報告する。 1 開催日時 令和7年5月25日（日） 午後1時～5時 （平均気温17.7℃、曇り） 2 場所 千住ほんちょう商店街 3 観覧者 （1）来場者数 9,490名【昨年度7,961名】 （2）出演者数 76組302名【昨年度67組457名】 （3）従事者数 91名（無償ボランティアスタッフ31名） 4 担当所感 （1）千住宿開宿400年のキックオフイベントとして、広報紙や商店街横断幕等でPRを行うことで、昨年度の来場者数を大きく上回った。 （2）3組のゲストアーティストのうち、2組が参加型だったため、観客がコラボレーションすることで、今まで以上に一体感のあるイベントとなった。 【参考】千住・人情芸術祭 1 DAY パフォーマンス表現街について 商店街を舞台に公募により集まった団体・個人が歌やダンス、パントマイムなど同時多発的にパフォーマンスを行うイベント。

総務委員会情報連絡

令和7年6月30日

件名	あだち虹色寄附 令和6年度の実績報告について																															
所管部課名	政策経営部 シティプロモーション課 政策経営部 財政課																															
内 容	1 あだち虹色寄附の令和6年度実績																															
	(1) 寄附実績一覧																															
	<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">年間実績</th><th colspan="2">令和5年度</th><th colspan="2">令和6年度</th></tr><tr><th>件数</th><th>実績額 (千円)</th><th>件数</th><th>実績額 (千円)</th></tr><tr><td colspan="2">あだち虹色寄附</td><td>1,151件</td><td>141,696</td><td>3,059件 (+1,908)</td><td>209,485 (+67,789)</td></tr><tr><td rowspan="2">内 訳</td><td>個人分 (ふるさと納税)</td><td>1,047件</td><td>94,587</td><td>2,974件 (+1,927)</td><td>168,369 (+73,782)</td></tr><tr><td>企業・団体分</td><td>104件</td><td>47,109</td><td>85件 (△19)</td><td>41,116 (△5,993)</td></tr></table>					年間実績		令和5年度		令和6年度		件数	実績額 (千円)	件数	実績額 (千円)	あだち虹色寄附		1,151件	141,696	3,059件 (+1,908)	209,485 (+67,789)	内 訳	個人分 (ふるさと納税)	1,047件	94,587	2,974件 (+1,927)	168,369 (+73,782)	企業・団体分	104件	47,109	85件 (△19)	41,116 (△5,993)
	年間実績		令和5年度		令和6年度																											
			件数	実績額 (千円)	件数	実績額 (千円)																										
	あだち虹色寄附		1,151件	141,696	3,059件 (+1,908)	209,485 (+67,789)																										
	内 訳	個人分 (ふるさと納税)	1,047件	94,587	2,974件 (+1,927)	168,369 (+73,782)																										
		企業・団体分	104件	47,109	85件 (△19)	41,116 (△5,993)																										
	※ () は前年度との差																															
	令和5年度と比較して、 <u>件数は約2.6倍、実績額は約1.4倍増加。</u>																															
ふるさと納税返礼品(区外在住・個人分)では、過去最高の2,817件、寄附額141,427千円となった。																																
(2) 寄附実績の増要因																																
ア ふるさと納税返礼品(令和5年度196品→令和6年度239品)の拡充に加え、子どもの未来を応援する「ムーミンこどもミライサポートプログラム」と協定を結び、使途限定型の返礼品を開発したことなどが話題を呼び、より多くの寄附につながった。																																
イ 令和6年12月に人気テレビ番組で、「町工場が本気を出した一生モノの日用品が手に入る区」として返礼品が紹介されたことで、大きな反響を呼んだ。																																
ウ 足立区の返礼品の魅力を伝えるPR物産展を地方都市(仙台)で開催するなど、区外に向けたPRにも力を入れた。																																

(3) 寄附受入実績

(令和6年度の件数の多い順に掲載)

No.	寄附の使い道 ※ () は基金名	令和5年度		令和6年度	
		件数	実績額 (千円)	件数	実績額 (千円)
1	文化芸術振興活動の支援(文化芸術振興基金)	36件	1,203	1,066件 (+1,030)	80,151 (+78,948)
2	子ども食堂・児童養護施設単立ち支援(あだち子どもの未来応援基金)	361件	25,975	991件 (+630)	46,170 (+20,195)
3	育英資金貸付などの進学支援(育英資金積立基金)	367件	25,330	213件 (△154)	25,547 (+217)
4	緑の保全・維持管理活動(緑の基金)	75件	3,968	171件 (+96)	7,421 (+3,453)
5	特別養護老人ホーム等の整備(地域福祉振興基金)	62件	54,798	155件 (+93)	24,259 (△30,539)
6	絵本の読み語り事業	64件	2,811	149件 (+85)	5,698 (+2,887)
7	動物愛護事業	102件	1,720	113件 (+11)	1,988 (+268)
8	パラスポーツ普及事業	30件	1,323	70件 (+40)	2,606 (+1,283)
9	ボランティア・NPO活動支援(協働・協創パートナー基金)	30件	3,179	64件 (+34)	2,107 (△1,072)
10	環境保全活動の支援(環境基金)	19件	1,087	62件 (+43)	2,788 (+1,701)
11	その他の寄附	5件	20,302	5件 (±0)	10,750 (△9,552)
合 計		1,151件	141,696	3,059件 (+1,908)	209,485 (+67,789)

※1 使途を限定しない寄附は文化芸術振興基金に充当

※2 表示金額は表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため合計に一致しない場合がある。

(4) 返礼品実績

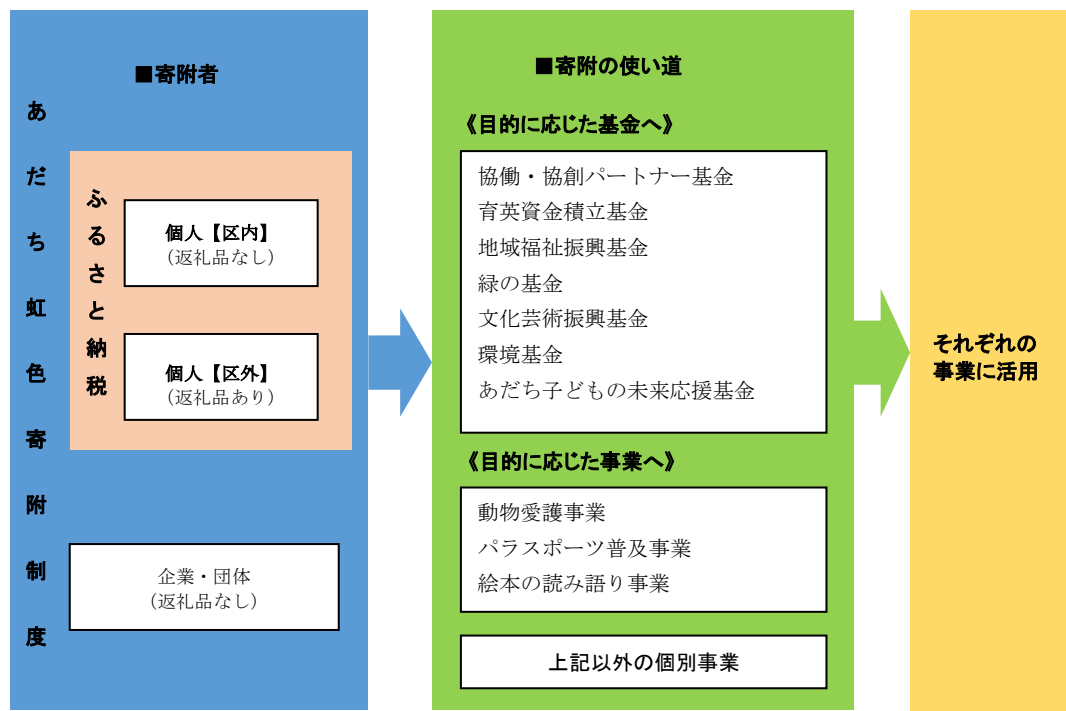
別紙1のとおり

2 今後の方針

ふるさと納税について、件数は令和5年度の2.8倍、金額は令和5年度の1.8倍となっている。大口寄附の見込みは立てられないものの、今後も寄附額の増を目指し、引き続き返礼品の拡充とPRに取り組む。

(参考) あだち虹色寄附制度の体系について

寄附する額によって住民税などが優遇される「ふるさと納税制度」を内包させ、寄附者が使い道を選び、自身の想いを区の事業に反映させる仕組みとしている。



令和6年度 あだち虹色寄附 年間寄附件数&金額 TOP 20

1 件数

順位	返礼品名	寄附額 (円)	実績数 (個)	寄附額合計 (円)
1	ヨックモック シガール 30本入り YOKUMOKU	12,000	879	10,571,000
2	玉子焼器 銅製 長方形(13×18cm) 中村銅器製作所 板厚1.5mm	33,000	471	15,543,000
3	医療器具屋さんが作った耳かき 医療職人の技	13,000	293	3,809,000
4	[伝統工芸/東京手植 ブラシ] 手植え洋服ブラシ お手入れクシセット	69,000	158	10,902,000
5	ナッコブセ ホルモンとタコ、魚介類の鍋料理 『ヨブの王豚塩焼』 韓国料理	17,000	121	2,057,000
6	「足立の花火」 令和6年7月20日(土) 南シングルエリア観覧チケット	20,000	90	1,800,000
7	「足立の花火」 令和6年7月20日(土) 西新井側北シングル席観覧チケット	17,000	60	1,020,000
8	チュコブセ ホルモンとイイダコ 魚介類の鍋料理 『ヨブの王豚塩焼』 韓国料理	17,000	44	748,000
9	「足立の花火」 令和6年7月20日(土) 西新井側4人がけテーブル席観覧チケット	67,000	40	2,400,000
10	トーキョージャンボゴルフセンター 施設利用券 【1万円分】	37,000	35	1,295,000
11	トーキョージャンボゴルフセンター 施設利用券 【3万円分】	103,000	33	3,399,000
12	[藤巻百貨店] 【DOUBLELOOP】 JOURNEY resort tough バリスティックナイロントートバッグ (ショルダー付き ミディアムプラス ネイビー)	116,000	31	3,606,000
13	「足立の花火」 令和6年7月20日(土) 西新井側ベアエリア観覧チケット	34,000	30	1,020,000
14	トーキョージャンボゴルフセンター 施設利用券 【2万円分】	70,000	29	2,030,000
15	玉子焼器 銅製 正方形(12×12cm) 中村銅器製作所 板厚1.5mm	29,000	28	812,000
16	行平鍋 銅製 18cm 中村銅器製作所 板厚1.5mm	55,000	25	1,375,000
18	[藤巻百貨店] 【DOUBLELOOP】 別注: JOURNEY エンブroidアリー2WAYボディバッグ	87,000	22	1,917,000
18	トーキョージャンボゴルフセンター 施設利用券 【5万円分】	170,000	22	3,740,000
20	「足立の花火」 令和6年7月20日(土) 西新井側トリプルエリア観覧チケット	50,000	20	1,000,000
20	ハルタ コインローファー men's	51,000	20	1,020,000

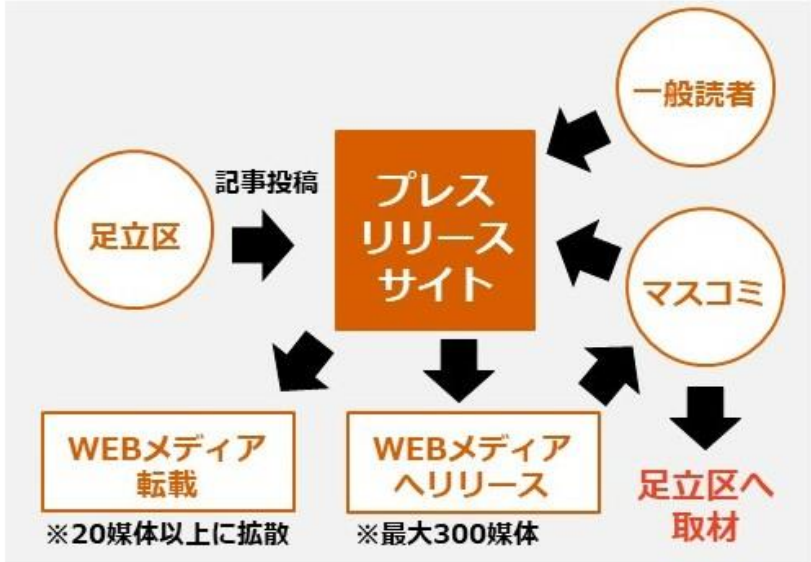
2 金額

順位	返礼品名	寄附額 (円)	実績数 (個)	寄附額合計 (円)
1	玉子焼器 銅製 長方形(13×18cm) 中村銅器製作所 板厚1.5mm	33,000	471	15,543,000
2	[伝統工芸/東京手植 ブラシ] 手植え洋服ブラシ お手入れクシセット	69,000	158	10,902,000
3	ヨックモック シガール 30本入り YOKUMOKU	12,000	879	10,571,000
4	[藤巻百貨店] 【大峽製靴】 オーバーナイトトートバッグ	922,000	7	6,454,000
5	医療器具屋さんが作った耳かき 医療職人の技	13,000	293	3,809,000
6	中村銅器製作所 ランドセル 2026年 牛革ボルサ	250,000	15	3,750,000
7	トーキョージャンボゴルフセンター 施設利用券 【5万円分】	170,000	22	3,740,000
8	[藤巻百貨店] 【DOUBLELOOP】 JOURNEY resort tough バリスティックナイロントートバッグ (ショルダー付き ミディアムプラス ネイビー)	116,000	31	3,606,000
9	トーキョージャンボゴルフセンター 施設利用券 【3万円分】	103,000	33	3,399,000
10	「足立の花火」 令和6年7月20日(土) 西新井側4人がけテーブル席観覧チケット	67,000	40	2,400,000
11	ナッコブセ ホルモンとタコ、魚介類の鍋料理 『ヨブの王豚塩焼』 韓国料理	17,000	121	2,057,000
12	トーキョージャンボゴルフセンター 施設利用券 【2万円分】	70,000	29	2,030,000
13	[藤巻百貨店] 【DOUBLELOOP】 別注: JOURNEY エンブroidアリー2WAYボディバッグ	87,000	22	1,917,000
14	「足立の花火」 令和6年7月20日(土) 南シングルエリア観覧チケット	20,000	90	1,800,000
15	行平鍋 銅製 18cm 中村銅器製作所 板厚1.5mm [0575]	55,000	25	1,375,000
16	トーキョージャンボゴルフセンター 施設利用券 【1万円分】	37,000	35	1,295,000
17	中村銅器製作所 ランドセル 2026年 ベルエース	200,000	6	1,210,000
18	ムーミン こどもミライサポート がま口ポシェット	77,000	14	1,078,000
20	「足立の花火」 令和6年7月20日(土) 西新井側北シングル席観覧チケット	17,000	60	1,020,000
20	「足立の花火」 令和6年7月20日(土) 西新井側ベアエリア観覧チケット	34,000	30	1,020,000

※年度途中で寄附額が変更となっている品があるため、寄附額合計が合わない場合があります。

総務委員会情報連絡

令和7年6月30日

件 名	令和6年度プレスリリースサイトを活用した情報発信の実績について
所管部課	政策経営部 シティプロモーション課
内 容	区の魅力を区内外に広く発信・拡散することによって、区のイメージアップを図るため、令和4年度よりプレスリリースサイトを活用した情報発信を開始した。令和6年度の実績について、以下のとおり報告する。 1 プレスリリースサイトとは 全国のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、WEBメディア等に対してプレスリリースを配信することができるWEBサービス。配信した記事はプレスリリースサイトへの掲載だけでなく、各WEBメディアのサイトにも転載される。区では、「PRTIMES」を活用している。  2 年間委託費用 <u>990,000円(税込)</u> 3 情報発信の実績について (1) 年間発信件数 <u>25件</u> (令和5年度 20件) ※ 発信する情報は、区のイメージアップに繋がるもので、かつメディアが取り上げやすい記事を選定している。

(2) 発信効果

	令和6年度実績	閲覧者が多かった記事
閲覧者数	82,653人 (令和5年度実績 27,495人)	① 「足立の花火」開催 (19,036人) ② 23区最大の子ども支援 (13,506人) ③ ふるさと納税で「足立の 花火」観覧席(12,460人)

	令和6年度実績	広告換算値が高かった記事
広告 換算値	104,115,100円 ※ PRTIMES調べ (令和5年度実績 77,133,710円)	① 横田滋写真展開催 (30,161,600円) ② 「ワケあり区」本格始動 (19,126,000円) ③ 「足立の花火」開催 (11,523,500円)

	令和6年度実績	メディア掲載が多かった記事
メディア 掲載	WEB 58件 ※ 所管課調べ(20媒体 以上への転載が保証され ている原文転載は除く) テレビ 6件 新聞 9件	① 「足立の花火」開催 (12件) ② 「千本桜まつり」開催 (10件) ③ 生物園でグンディを展示 (8件)

4 掲載内容

別紙「令和6年度ページビュー・閲覧者数実績一覧」参照

5 今後の方針

令和6年度から本格始動した区外に向けたシティプロモーションと合わせ、区のイメージアップを図るために、区の先進的な取り組みなどを積極的に発信していく。

令和6年度ページビュー・閲覧者数実績一覧

別紙

	タイトル	リリース日	1か月間の 閲覧者数	web	広告換算料 (発信から1カ月間)	掲載実績 ※シティプロモーション課調べ
1	【東京都足立区】人形浄瑠璃文楽の語り手「太夫」の十一代目豊竹若太夫が西新井大師に現る！襲名披露が行われる5月文楽公演の成功を祈願	4月12日	934	31	6,967,400	【web4件】「サンケイスポーツ」「ナタリー」「日刊スポーツ」「ライブドアニュース」
2	【東京都足立区】2024年5月28日(火)報道関係者向け「足立区マイナスイメージ払拭プロモーション発表会」を開催します※メディア限定	5月20日	403	-	-	
3	【東京都足立区】キーワードは「ワケあり区、足立区。」マイナスイメージを払拭するため、足立区外へ向けたシティプロモーションを本格始動します	5月28日	938	29	19,126,000	【web3件】「AdverTimes」「カワコレメディア」「WorkMaster」 【テレビ2件】「フジテレビ イット」「MX ニュースフラッグ」
4	【東京都足立区】6月は食育月間！大好評のセブン-イレブン×足立区のおいしい給食 コラボ商品「えびクリームライス」を今年も期間限定で販売。楽ベジメニュー「小松菜のバター醤油スパゲティ」も新登場！	6月13日	2,076	30	3,302,800	【web5件】「グル×Watch」「jocoe」「ストレートプレス」「共同通信社」「OVO(オーヴォ)」
5	【東京都足立区】高校生の夢を全力応援！難関大学合格を目指す無料学習塾「足立ミライゼミ」2期生がスタート	6月17日	466	29	1,881,400	【web1件】「大学ジャーナルオンライン」
6	【東京都足立区】6月22日(土)午前0時から受付開始、花火観覧席と宿泊セットも新登場！「第46回足立の花火」(7月20日開催)の観覧はふるさと納税返礼品で！！	6月18日	12,460	42	1,437,100	【web1件】「トラベルWatch」
7	【東京都足立区】7月20日(土)「第46回足立の花火」開催！わずか1時間で13,000発を打ち上げる大迫力の超高密度花火をご堪能ください	7月11日	19,036	33	11,523,500	【web11件】「マイナビニュース」「さんたつ」「克蘭クイン！トレンド」「ウォーカープラス」「イベントチェッカー」「みんなの経済新聞」「KURUKURA」「いこーよ」「tbs news dig」「ハフポスト」「ウェザーニュース」 【テレビ1件】「日テレnewsevery」
8	【報道関係者向け】未来へつなぐあだちプロジェクトの「あだち子どもの未来応援基金」と「ムーミン こどもミライサポートプログラム」が提携し、2024年8月2日(金)に協定締結式を開催します※メディア限定	7月23日	322	-	-	
9	【東京都足立区】夏休み期間中、18歳以下の施設利用やイベント参加が無料！入浴料無料の堀田湯では森永乳業と連携し、はじめての銭湯体験を応援する「マミー湯」を開催中！	7月23日	699	29	2,064,100	【web1件】「サードニュース」
10	食品ロス削減啓発イベント「mottECO(モッテコ) FESTA2024」に足立区の「おいしい給食」が初出展します！	7月24日	933	30	1,025,800	【web1件】「サードニュース」
11	【東京都足立区】すべての子どもに夢や希望を！「あだち子どもの未来応援基金」への使途限定型ふるさと納税返礼品にオリジナルのムーミングッズが登場	8月5日	512	27	1,959,600	【新聞2件】「都政新報」「東京新聞」
12	若者たちが足立区の未来をデザインしていく「アダチ若者会議」を初開催！	8月6日	715	29	1,770,300	【web1件】「Work Master」
13	【東京都足立区】9月3日から 東京23区北東部初の横田滋写真展「めぐみちゃんと家族のメッセージ」開催	9月3日	378	27	30,161,600	【web1件】「共同通信」 【テレビ2件】「日本テレビニュース」「フジテレビニュース」 【新聞3件】「産経新聞」「朝日新聞」「東京新聞」
14	【東京都足立区】商店街を表現街に！？「千住・人情芸術祭 1DAYパフォーマンス表現街」開催！	9月30日	6,045	50	1,320,000	
15	【東京都足立区】11月2日 横田拓也氏による講演「北朝鮮よ、姉横田めぐみを帰せ！」開催	10月4日	813	45	1,197,300	【web1件】「サードニュース」
16	SDGs未来都市・東京都足立区が手掛ける施設「あやセンター ぐるぐる」がグッドデザイン賞を受賞	10月16日	612	40	897,400	【web1件】「サードニュース」
17	1番イケてるモルモットは誰だ！？「2代目推しモル」を決める「足立区生物園 モルモット総選挙」開催	11月14日	511	53	1,990,700	【web2件】「北千住経済新聞」「読売新聞オンライン」 【新聞1件】「読売新聞」
18	【東京都足立区】12月1日(日)無数のシャボン玉で舎人公園を光の風景へ。現代美術家・大倉伸嗣氏による「Memorial Rebirth 千住 2024 舎人公園」を開催。	11月27日	7,041	36	1,106,400	【web2件】「いこーよ」「Tokyo Live&Exhibits」
19	日本一を目指す「足立区のおいしい給食」がアツイ！！今、再び注目されている3つのワケ	12月10日	1,050	33	5,921,000	【web5件】「こどもとIT」「サードニュース」「農業協同組合新聞」「PR EDGE」「OVO」
20	足立区綾瀬・北綾瀬エリアがさらに便利に！ 綾瀬駅東口駅前交通広場のロータリーオープン！	1月15日	3,524	53	1,614,100	
21	見られるのは日本でたった2施設だけ！足立区生物園で砂漠の妖精グンティの展示を開始します	1月17日	7,226	30	3,619,500	【web4件】「トラベルwatch」「WorkMaster」「minima」 「サードニュース」 【テレビ1件】「MX NEWS」 【新聞3件】「東京新聞」「朝日新聞」「読売新聞」
22	【東京都足立区】報道関係者向け「子育てにまつわる“ウワサ”に迫るワケありツアー」を2月13日(木)に開催 ※メディア限定	1月31日	221	—		
23	発売1カ月で重版決定！「東京・足立区のおいしい給食レシピ」ルミネ北千住で特別販売＆抽選会を開催します！	2月4日	404	84	2,640,200	【web3件】「real sound」「サードニュース」「ゆうゆうtime」
24	【東京都足立区】満開までもうすぐ！1,000本の桜の下で春を楽しむ「舎人公園千本桜まつり」を開催します！	3月26日	1,828	61	1,345,600	【web10件】「ファッションプレス」「デジカメWatch」「MSN」「猫の道案内」「さんたつby散歩の達人」「川口マガジン」「Tokyoosampo」「いこーよとりっぷり」「おとなの住む旅」「BIKE TOURING DOKO IKO」
25	【東京都足立区】23区最大の子ども支援が実現！1人10万円の入学準備金など新たな負担軽減策で小中学生の教育費を支援	3月27日	13,506	51	1,243,300	【web1件】「リセサム」
			82,653	872	104,115,100	掲載実績 【WEB】58件、【テレビ】6件、【新聞】9件

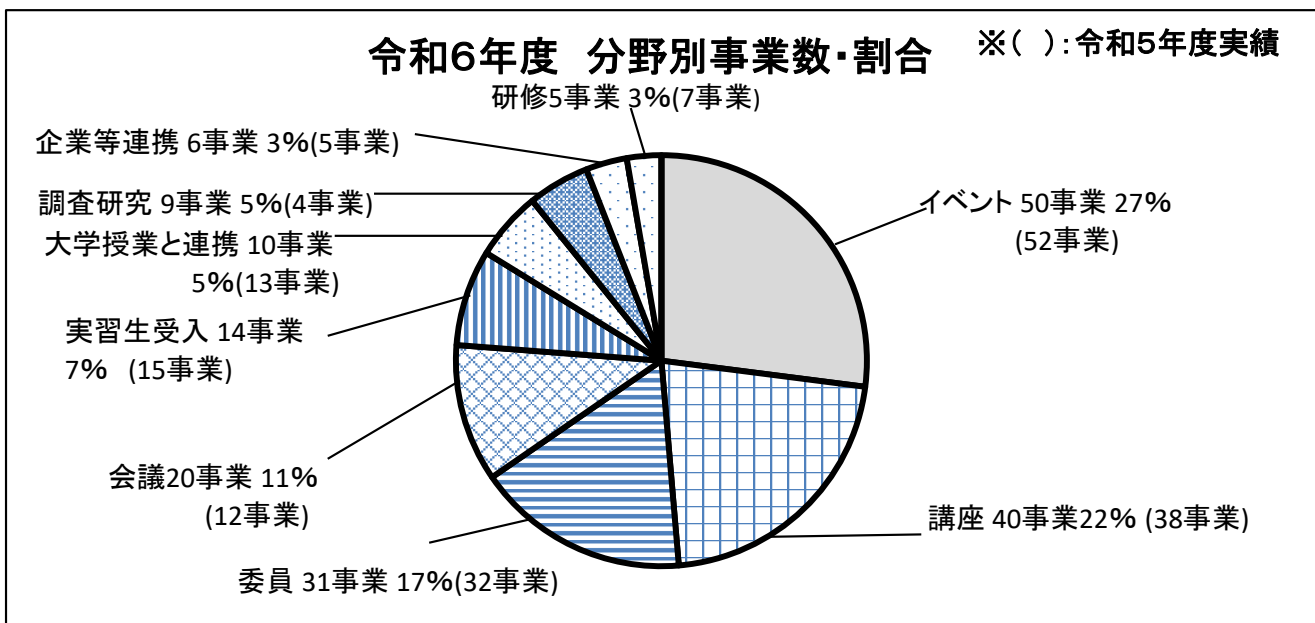
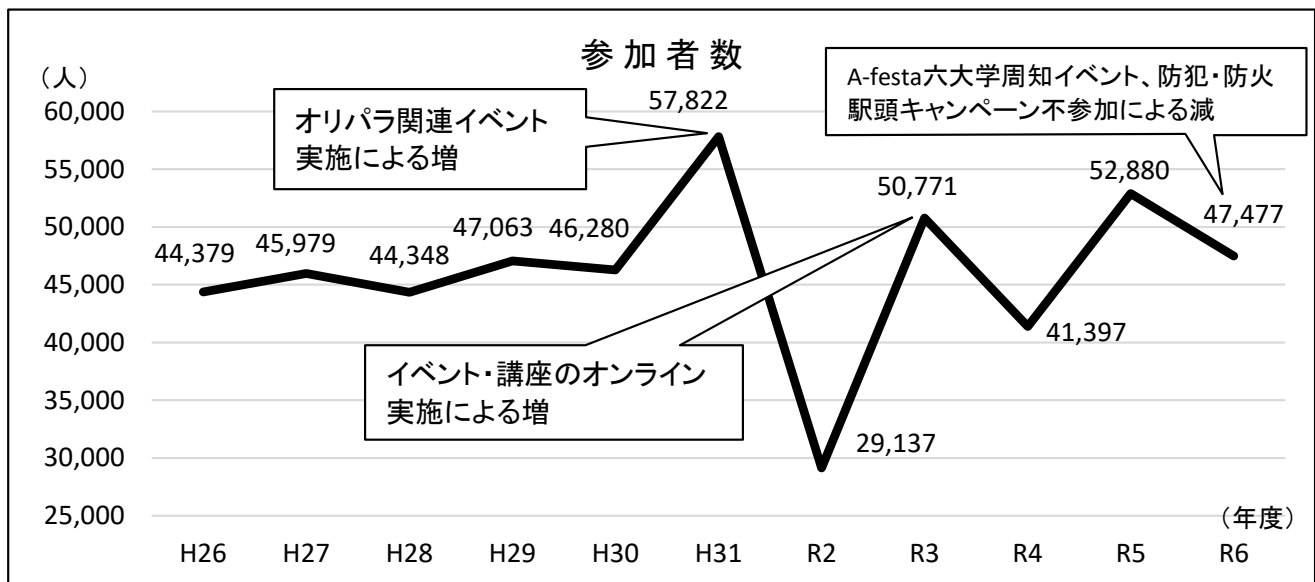
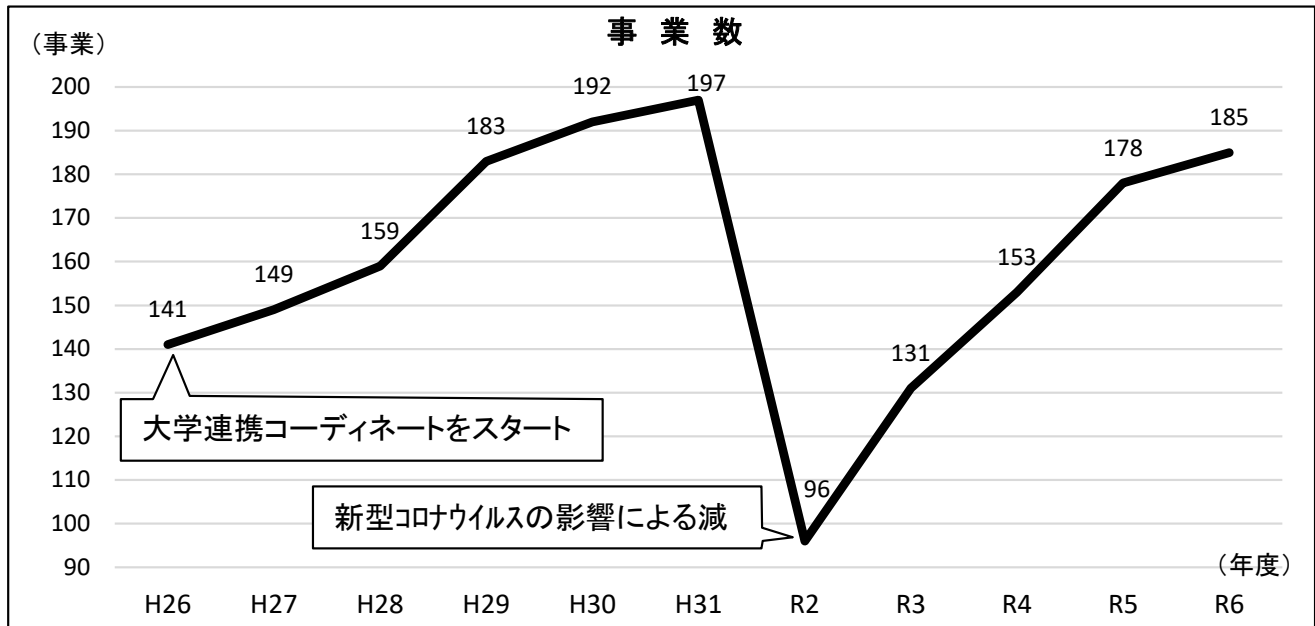
総務委員会情報連絡

令和7年6月30日

件名	令和6年度区内六大学との連携事業一覧について
所管部課	政策経営部 シティプロモーション課
内容	令和6年度に実施された、足立区と放送大学、東京藝術大学、東京未来大学、帝京科学大学、東京電機大学、文教大学との連携事業についての調査結果をとりまとめたので報告する。 ※ 六大学名の並びは区内での開学・開設順 1 大学連携事業について 区内大学それぞれの専門性を活かし、区と相互に連携して実施する事業であり、区民向けの講座やイベント、庁内各種会議における学識委員の選出など様々な事業を実施している。 活力ある地域づくりや人材育成を図り、地域社会の発展と大学の教育・研究に寄与することを目的とする。 2 実施した事業数 185事業（令和5年度 178事業） ※ 事業数の推移等については別紙1のとおり 3 参加者数 47,477人（令和5年度 52,880人） 4 令和6年度の特徴 （1）連携事業数は、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行から順調にV字回復し、185事業となった。 （2）学園祭などの地域に開かれたイベントへの参加者数が増加した（令和5年度15,850人→令和6年度17,066人）。 （3）東京電機大学のものづくり体験講座や文教大学の大学生と一緒に探検するキャンパス体験など、大学の自主企画が増えている。 ※ 大学の自主企画については、区では、チラシ配布など周知PRのみの協力であるため、連携事業一覧には掲載していない。 5 各事業の詳細について 別紙2のとおり

	6 調査結果の活用について (1) 各大学の専門性を活かした事業を展開できるよう、庁内各部署と情報を共有していく。 (2) 大学連携事業に関する行政評価の指標として活用する。 (3) 区ホームページに掲載し、連携事業の区民への周知を図る。 7 今後の方針 (1) 区民ニーズをとらえた大学連携事業の充実を図るため、区と大学による協議を進めていく。 (2) 庁内関係部署との連絡会等における情報共有や発信を強化し、事業全体の見える化を進める。 (3) 地域や企業・団体と大学の連携企画や学生の地域活動をサポートし、区民が大学を身近に感じる環境づくりに取り組んでいく。
--	--

六大学との連携事業



令和6年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

本表の並び順について
「事業区分」①イベント②講座③委員④会議⑤実習生受入⑥大学授業と連携⑦調査研究⑧企業等連携⑨研修の順
「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順
なお、「大学」、「主な対象者」は、下記の順で記載
「大学」(足立区での開設順)放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学
「主な対象者」(年齢を基準に区分)幼児 小学生 中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への 支払額	部・室	課
1	イベント	放送大学	全区民	学びピアの縁側 筆跡診断・ウォーキング ゲーム 運営	—	筆跡研究会/かかとの 会	学びピア21の各施設がそれぞれのイベントを持ち寄り、一緒に開催する。	対面	毎月第3土曜日※ 原則として	12	10	—	—	地域のちから推 進部 生涯学習支援 室	生涯学習支 援課
2			小中学生	アートアクセスあだち 音ま ち千住の縁 「イミグレーション・ミュージ アム・東京」	音楽学部音楽環 境創造科、大学院 国際芸術創造研 究科	熊倉純子教授	現代アートの手法を用いて、地域に暮らす外国人との交流を通して多文化社会を紐解く岩井 成昭(秋田公立美術大学教授、東京藝術大学非常勤講師)のプロジェクト。 区内の小学校2校と中学校1校へ海外ルーツを持つアーティストを派遣する等、アートを通じ て多文化社会を考えるエデュケーション・プログラムを実施した。	対面	11/14,11/19,11/21, 11/26,12/19,12/20, 2/3,2/7,2/13	9	—	208	—	政策経営部	シティプロ モーション課
3			大学生	新入生オリエンテーション	—	—	音楽環境創造科の新入生に対して、足立区の魅力やトラスト等の制度について解説。	対面	4/4	1	—	30	—	政策経営部	シティプロ モーション課
4			全区民	アートアクセスあだち 音ま ち千住の縁 「Memorial Rebirth 千住」	音楽学部音楽環 境創造科、大学院 国際芸術創造研 究科	熊倉純子教授	無数のシャボン玉で見慣れた景色を姿容させ、新たな記憶を生む、現代美術家・大巻伸嗣に よるアートパフォーマンス作品を軸に、地域住民との協働で展開するプログラム。 平成30年以來となる大規模イベントを東加平小学校で実施した。これまでの縁をつなぎ直す とともに、新たな仲間づくりを行った。	対面	6/1, 6/2, 7/20, 9/14, 9/21, 9/27, 10/14, 10/19, 10/20, 10/26, 10/27, 11/4, 11/9, 11/10, 11/24, 12/1, 12/8, 3/25, 3/29、 3/30	22	—	9,956	—	政策経営部	シティプロ モーション課
5				アートアクセスあだち 音ま ち千住の縁 「千住だじゃれ音楽祭」	音楽学部音楽環 境創造科、大学院 国際芸術創造研 究科	熊倉純子教授	作曲家の野村誠と公募で集まった市民による音楽団体「だじゃれ音楽研究会」が、多様な 人々との共創を通じて、だじゃれと音楽が結びついた「だじゃれ音楽」を深めていくプロジェクト。 梅田地域学習センターで開催された梅田クラブ納涼特別サロンや千本桜まつりでのワーク ショップ、パフォーマンスを行った。	対面	7/3, 8/21, 12/22, 3/29, 3/30	5	—	1,524	—	政策経営部	シティプロ モーション課
6				アートアクセスあだち 音ま ち千住の縁 「千住・人情芸術祭 1DAY パフォーマンス表現街」	音楽学部音楽環 境創造科、大学院 国際芸術創造研 究科	熊倉純子教授	地域のひとと場所との関係性に着目した、新たな「縁」を結ぶことを目指す。 「1DAYパフォーマンス表現街」では、公募パフォーマンス・ゲストアーティストらが、千住ほん ちよう商店街等で同時多発的に歌や踊りなどのパフォーマンスを繰り広げた。商店街主催の 「こども大名行列」と同時開催し、事前周知や当日の警備・ボランティア等で千住本町商店街 振興組合、千住本町五町会、足立成和信用金庫本店の協力を得るなど、地域との新たな縁 を紡いだ。	対面	10/6	1	—	8,470	—	政策経営部	シティプロ モーション課
7				アートアクセスあだち 音ま ち千住の縁 拠点形成事業「仲町の家」	音楽学部音楽環 境創造科、大学院 国際芸術創造研 究科	熊倉純子教授	江戸時代に建てられた旧家の日本家屋を、アートの拠点・文化交流施設として管理運営して いる文化サロン。 さまざまな人や団体とともに家の活用法を探る「パイロットプログラム」では、特に創作・表現 意欲のある若手アーティストや学生の活躍・挑戦の場となっている。	対面	通年	168	—	6,189	—	政策経営部	シティプロ モーション課
8				アートアクセスあだち 音ま ち千住の縁藝大千住おば けキャンパス	音楽学部音楽環 境創造科、大学院 国際芸術創造研 究科	長島確准教授	東京藝術大学千住キャンパスをより地域に開かれた場にすることを目標にする千住キャン パスをおばけ屋敷に見立てて、演劇、ダンス、音楽とさまざまな表現方法で演出する。	対面	8/7, 8/8	2	—	188	—	政策経営部	シティプロ モーション課
9			全区民(未就 学児除く)	足立区における多層的の文化 芸術環境の創造に関する 調査研究委託事業「芸術によるまちづくり事 業」	音楽学部音楽環 境創造科	田村文生教授	コンサートや動画配信、ワークショップなどを通して、区民の文化芸術への関心を高め、文化 芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、区内文化芸術振興に 資することを目的とする。 コンサートやワークショップ(R5年度から)を年4〜5回で実施。その一部を後日動画配信する。 。	オンライン、 対面	7/13, 8/31, 11/3、 1/11, 2/3	5	300、30、 180、100、 170	632	3,868,000	地域のちから推 進部生涯学習 支援室	地域文化課
10			全区民(幼児 から中学生)	足立区における多層的の文化 芸術環境に関する調査 研究委託事業「音楽教育 支援事業」	大学院音楽研究 科	市川恵准教授	1 学校希望制にて、出張演奏会の実施や部活動指導等の実施。 2 授業補助等の映像コンテンツの作成・配布。 3 音楽教諭研修会の実施。	対面	通年	—	—	6,922	17,043,000	学校運営部	青少年課
11			全区民(保育 者)	足立区における多層的の文化 芸術環境に関する調査 研究委託事業「福祉と子育て支援事業」	音楽学部 音楽文化学専攻 音楽文芸	畑瞬一郎教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創 造を図るとともに、多層的の文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施し、今後の区内文 化芸術振興に資することを目的とする。 ・具体的事業は以下のとおり ①区内保育施設の音楽活動に、音楽療法のノウハウとスキルを活用するため、出張型園内 コンサート及び園内研修を実施 ②保育者を対象に音楽を通して、乳幼児期と関わる意義とその方法の理解を深め、保育実 践につながる具体的な音楽活動(おとあそび研修) ③障がいのある子どもと、その家族を対象としたコンサート(二部制)	対面	①5/28、6/18、 7/5、7/30、9/3、 9/5、9/9、9/19 ②10/8、10/15、 11/1、11/7、 11/26、1/8、1/16、 1/17 ③9/28	17	①園によっ て異なる ②園によっ て異なる ③午前・午 後 各部 定員80名	378	1,400,000	子ども家庭部	子ども施設指 導・支援課
12		東京未来大学	幼児、小学生	こどもみらい祭	—	—	大学生と千住地域の小学生が実行委員となって出店等を行った。主な来場者は地域の親 子。	対面	7/20	1	—	721	—	政策経営部	シティプロ モーション課
13			小学生	学びっこフェスタ 音楽広 場 講師・運営	こども心理学部こ ども心理学科	高地誠子准教授/ゼミ 生	学びっこフェスタイベント内で手作り楽器の作成と作った楽器での演奏を行う。	対面	5/6	2	231	231	—	地域のちから推 進部 生涯学習支援 室	生涯学習支 援課

①
イ
ベ
ン
ト

放
送
大
学
・
東
京
藝
術
大
学
・
東
京
未
来
大
学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	部・室	課
14	イベント	東京未来大学	中高生	アートワークショップ	こども心理学部こども心理学科	高橋文子准教授	大学教授と大学生の指導のもと、講義・造形活動の実施をととして豊かな感性や自己表現力を養う。	対面	6/23	1	25	25	—	学校運営部	青少年課
15				異文化コミュニケーション	モチベーション行動学科	磯友輝子教授	大学のキャンパスで、心理学をテーマにした体験学習型授業に参加し、ソーシャルスキルについて学ぶ。	対面	2/16	1	25	24	—	学校運営部	青少年課
16			全区民	第4回小児リハビリテーション医学会学術集会シンポジウム	こども心理学部こども心理学科	小谷博子准教授	日本小児リハビリテーション医学会の学術集会の市民公開講座としてシンポジウムを実施。テーマは「誰ひとり取り残さない未来のために」。区からは区長が登壇した。	対面	9/7	1	—	350	—	政策経営部	シティプロモーション課
17				あだちNPOフェスティバル2024ボランティア	—	—	「NPOを知り、体験してもらう」ことを目的に区内で活動するNPO団体やCSR企業が出展するイベント。大学連携を図るため、東京未来大学にボランティアを募った。	対面	11/16、17	1	—	3	—	政策経営部あだち未来支援室	協働・協創推進課
18			—	ながら見守りワークショップ(西新井地区)	こども心理学部こども心理学科	出口保行教授	ながら見守り登録者のモチベーションや活動の質の向上に向け、防犯講話とワークショップを実施。	対面	11/2	1	40	118	—	危機管理部	危機管理課
19		帝京科学大学	幼児	のびのびプレイデイ	教育人間科学部幼児保育学科	飯泉祐美子教授/今西ひとみ教授/旦直子教授/呂曉彤教授/三石美鶴特任教授/木場有紀准教授/富岡麻由子准教授/松山寛講師/渡部晃子講師/安部久美助教/小林咲里亜助教/田口直子助教/渡辺令子助教	大学内に準備された複数の遊びのブースを親子で自由に遊びながら、家でもできる遊びを学ぶ。	対面	12/14	1	100	79	400,499	学校運営部	青少年課
20			小学生	夢の体験教室	教育人間科学部学校教育学科	植木岳雪教授/大日向浩教授/倉山智春准教授/加藤大和助教	小学生が複数の科学実験を体験しながら大学生生活を体験する。	対面	8/24	1	70	59	342,346	学校運営部	青少年課
21			中学生	体験！1日大学生	生命環境学部自然環境学科	橋本慎治教授/篠原正典教授/小林亮太講師	中学生向けにアレンジした大学の講座を受講することで、大学生生活を体験する。	対面	8/24	1	55	47	165,569	学校運営部	青少年課
22			大学生	拉致問題啓発パネル等の展示	—	—	「北朝鮮人権侵害問題等啓発週間12/10～16」にあわせた啓発事業として、啓発パネル・のぼり旗等を大学構内に展示した。	対面	12/10～16	1	—	—	—	総務部	総務課
23			高齢者	簡単レシピSNS発信	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授	大学生と高齢者が一緒につくる「簡単レシピ」をSNSにて発信する。時短料理。	対面	9月～12月	7	6	6	—	福祉部高齢者施策推進室	高齢者地域包括ケア推進課
24			全区民	大学生×地域のシニアおしゃべり処スペシャル	医療科学部看護学科	田中博子教授/糸井和佳教授/福井郁子講師	大学生が傾聴ボランティアとともに地域の方のお話を伺う。	対面	10/2、8	2	66	122	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
25				バラスポーツ体験会	教育人間科学部学校教育学科	岩沼聡一朗准教授	バラスポーツを中心に「誰とでも一緒にできるスポーツ」を体験し、バラスポーツへの理解を深める。	対面	2/2	1	なし	423	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	スポーツ振興課
26			—	清掃美化活動実施団体	大学全体	—	大学として団体登録。月1回以上、定期的に清掃活動を実施する団体に対し、年1回、区が5,000円以内の清掃物品を進呈、及びホームページ等で活動紹介を行う。	対面	毎週(月)	約40回程度	—	4	—	地域のちから推進部	地域調整課
27		東京電機大学	中学生	電気の基礎講座	情報環境学部情報環境学科	築山俊史教授	大学内にて実際に電流・電圧等、電気についての講義を受講し、電子回路を作成することを通して、より専門性の高い分野の基礎を学ぶ機会を提供し、参加生徒の科学的知見を深める。	対面	9/28	1	15	28	—	学校運営部	青少年課
28			大学生	花いっぱいコンクール	生体反応制御研究室	—	花いっぱい運動の一環として実施。大学敷地内の花壇で花の栽培を行い、コンクールに参加する。	対面	年2回	2	—	10	—	地域のちから推進部	地域調整課
29			全区民	北千住美化推進による秋の清掃活動	大学全体	—	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。大学敷地内をごみ回収場所として提供してもらっている。	対面	11/8	1	—	203	—	地域のちから推進部	地域調整課
30				北千住美化推進による春の清掃活動	大学全体	—	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。大学敷地内をごみ回収場所として提供してもらっている。	対面	5/30	1	—	179	—	地域のちから推進部	地域調整課
31			—	区外プロモーションPR発表会	—	—	東京電機大学を会場に、区外にむけたプロモーションのPR発表会を行った。	対面	5/28	1	—	33	—	政策経営部	シティプロモーション課
32		文教大学	小学生	あだち子ども未来起業塾	経営学部経営学科	鈴木誠教授/田中克昌准教授	小学4～6年生を対象に、SDGsについて学びながら、起業の一連の流れを体験する事業に、鈴木教授と田中准教授のゼミの学生がグループメンターとして参加。令和5年度から事業開始。	対面	8/2～4	3	25	77	—	産業経済部	企業経営支援課
33				OからENGLISH	国際学部国際理解学科	塩澤泰子教授	絵本をもとに、身体を動かして英語の面白さを身近に感じるレクリエーションやジェスチャーゲームを体験する。	対面	6/30、1/24	各日2回	25	89	—	学校運営部	青少年課
34			高齢者	あいもっと便	ぶんこ食堂ボランティア	—	フードロスで回収した食品を西保木間第4アパートの高齢者(条件あり)3名に声掛けを含めた訪問を大学生が行う。	対面	毎月1回	12	3	36	—	福祉部高齢者施策推進室	高齢者地域包括ケア推進課
35			全区民	はなはた文教マルシェ	—	—	足立成和信用金庫、花畑地区の地域自治会で組織された実行委員会により、草加市も含む大学周辺の地域の皆様の交流促進や地域経済の活性化を目的に企画・運営されたイベント。	対面	10/27	1	—	3,000	—	政策経営部	シティプロモーション課
36				観光研究学会の足立区ツアー	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	観光研究学会員向けに綾瀬、千住を紹介するツアーを実施。	対面	6/18	1	—	11	—	政策経営部	シティプロモーション課
37				高校生によるあだち未来スケッチ発表会司会・運営	国際学部国際観光学科	黛ゼミ生田中彬夢氏/酒井一陽氏	区内の高校から高校生が参加し、実践している地域活動を発表、交流する。	対面	11/17	1	50	42	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
38				「出張！世界を旅するおはなし会」	大学事務局学術情報部図書館課	—	【内容】文教大学東京あだち図書館にて、花畑図書館で開催している「世界を旅するおはなし会」を行った。 【目的・経緯】令和5年度から継続している事業で花畑図書館の認知と利用促進を図る。	対面	11/9	2	—	35	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	中央図書館
39				花畑ガイドウォーク「花畑でハナハタ知ってハナタカに」	—	竹市光 浅井彩心 永井優花	桜花亭での講座のあと、実際に花畑地区を歩きながら、地名に潜む自然や歴史について学べるガイドツアーを実施した。地域のことを知っていただく機会として、文教大学の学生にボランティア協力を依頼した。	対面	11/30	1	20	10	—	都市建設部道路公園整備室	パークイノベーション推進課

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への 支払額	部・室	課
40	イベント	文教大学	全区民	華又祭出展 未来への一投！！ 輪投げ&ストラックアウト 豪華賞品Getか否かどっち かエラビー	地域連携課	—	主権者教育事業の一環として、令和4年度から学園祭に出展。オンライン投票の体験や輪投げ等ゲームを行い、参加者には啓発グッズを配付した。	対面	11/9、11/10	1	—	337	—	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局
41				花畑図書館出張展示「絵本で世界を旅しよう-数にまつわるおはなし-」	大学事務局学術情報部図書館課	—	【内容】文教大学東京あだち図書館のメイン特集コーナーにて、共同展示を行った。花畑図書館で開催している「世界を旅するおはなし会」で紹介した数にまつわる絵本を展示した。 【目的・経緯】令和3年度から継続している事業で資料展示を通して花畑図書館の認知と利用促進を図る。	対面	10月～11月	1	—	—	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	中央図書館
42				花畑図書館出張ミニ展示「世界を旅するおはなし会」	大学事務局学術情報部図書館課	—	【内容】文教大学東京あだち図書館の入口にて、花畑図書館で毎月開催している「世界を旅するおはなし会」にて使用した本を展示した。 【目的・経緯】令和5年度から継続している事業で資料展示を通して花畑図書館の認知と利用促進を図る。	対面	4/22～3/31	10	—	—	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	中央図書館
43				くらしフェスタ(消費生活展)	国際学部国際観光学科	黛陽子准教授	くらしフェスタは、消費者団体などの活動成果の展示や、官公庁・生活関連企業などの情報提供を通じて消費者意識の啓発を図ることを目的とした内容。エシカル消費をテーマとして、文教大学出展ブースでは、バリ島農村観光プロジェクトにより村人が作成した紙すきを利用して大学生が開発した商品を販売及びその場で簡単に手作りできるワークショップ式販売。	対面	10/26	1	—	812	—	産業経済部	産業政策課
44		東京藝術大学/東京未来大学/帝京科学大学/文教大学	小学生	小学校自然教室事業(日光・鋸南)	—	—	小学校5年生の鋸南自然教室、6年生の日光自然教室に随行し、教員の補助をする指導補助員・養護指導員として大学生が参加。	対面	5月～12月	日光67 鋸南67	—	18	—	学校運営部	学務課
45		東京藝術大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学	—	春のごみゼロ地域清掃活動	大学全体	—	区の「春のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力を依頼。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	5/13、5/20、6/19、 5/17	4	—	68	—	地域のちから推進部	地域調整課
46		東京未来大学/帝京科学大学/東京電機大学/文教大学	高校生	高校生向け大学見学会	—	—	青井高校の生徒が大学を見学。一部大学では模擬授業も行った。	対面	8/1、6、18、21	4	—	10	—	政策経営部	シティプロモーション課
47		東京未来大学/文教大学	大学生	食育月間(ベジタベ)	—	—	食育月間「ベジタベポスター・ポップ」掲示及びリーフレット配布等の協力。	対面	6月	1	—	—	—	衛生部	こころとからだの健康づくり課
48		東京未来大学/帝京科学大学/東京電機大学/文教大学	全区民	大学生によるあだち未来スケッチACTION発表	—	大学生	地域活動に取り組む大学生が、その活動を地域に向けて披露し交流する。	対面	6/30	1	50	37	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
49		帝京科学大学/文教大学	—	秋のごみゼロ地域清掃活動	大学全体	—	区の「秋のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力を依頼。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	10/7、11/22、	2	—	28	—	地域のちから推進部	地域調整課
50		東京電機大学/文教大学	全区民	あだち国際交流フェア2024「世界のあそび体験」ブース出店	大学全体	—	国際交流ができる場として新型コロナウイルス感染拡大の影響で4年間中止となっていたあだち国際まつりに代わるイベントを開催。 東京電機大学はあだち国際まつりに参加していた経緯から依頼。外国の文化体験を目的に、学生や留学生に各国のあそびを紹介をして貰った。	対面	10/27	1	—	1,000	—	地域のちから推進部	地域調整課

①イベント
文教大学・複数大学

②講座

放送大学・東京藝術大学・東京未来大学・帝京科学大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	部・室	課
1	講座	放送大学	全区民	あだちの大学リレーイベント企画「理科好き集まれ！科学のセカイ入門講座！自分だけのけんび鏡でミクロの世界をのぞいてみよう！」	東京足立学習センター	最上善広特任教授・所長/堀田のぞみ非常勤講師	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。ペットボトルを使って顕微鏡を工作し植物の花粉やミジンコなどを観察したのちに、本物の顕微鏡を使い、見え方を比較した。特任教授・放送大学東京足立学習センター所長 最上善広 氏	対面	8/18	1	20	20	—	政策経営部	シティプロモーション課
2				オメガ3脂肪酸が脳機能や心の健康に与える影響	お茶の水女子大学	小林哲幸名誉教授	オメガ3と健康の関係を学ぶ。	対面	2/16	1	40	48	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
3		東京藝術大学	小学生	あだちの大学リレーイベント企画「みんなで楽しむ音楽とダンス！」	国際芸術創造研究科/キュレーション教育研究センター	酒井雅代修士/山崎朋非非常勤講師/石川清隆特任助手/南條由起ヴァイオリニスト	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。児童はクラシック音楽と身体をつかった「あそび」と「まなび」を体験。保護者はアート体験を通じた「まなび」についての講座受講。	対面	1/26	1	40	82	—	政策経営部	シティプロモーション課
4		東京未来大学	幼児	若者チャレンジ事業「ボールであそぼう！心と体を育む幼児のための運動遊び」企画・運営・講師	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	森下ゼミ生 志賀千太郎氏	学生のやりたい事柄を企画作りから準備、広報、当日運営まで支援。子どもの運動能力を育てるためのボール遊びの講座。	対面	7/20	1	20	9	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
5				親子で楽しむ 着ぐるみ運動会運営	こども心理学部こども心理学科	西村実穂准教授/岩井真澄講師/各ゼミ生	大学生が企画した着ぐるみ運動会を親子で楽しむ。	対面	6/22	1	60	54	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
6			小学生	あだちの大学リレーイベント企画「発達のキホンと支援のヒント」	保育・教職センター	長濱 千枝子 特任教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。子どもの発達に関する基本的な知識、発達が気になる子どもとの接し方、困ったときの相談方法など、事例を交えて解説した。	対面	12/7	1	100	74	—	政策経営部	シティプロモーション課
7			全区民 (16歳以上)	親子で楽しむ クリスマスコンサート	こども心理学部こども心理学科	高地誠子准教授/ゼミ生	学生が企画・運営する親子向けのクリスマスコンサート。	対面	12/22	1	70	60	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
8				共催公開講座「教科書には書かれていない歴史を学ぶ 初級古文書講座」	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	山崎善弘准教授	初心者に向けた古文書の講座、古文書を通して現代社会を考える。	対面	11/1、8、15	3	40	29	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
9				ロボット・IoTの活用で自分らしく暮らす 介護の今とこれから	福祉保育専門学校	小林宏気非常勤講師	介護ロボットの導入と、これからの介護の在り方を学ぶ。	対面+オンライン	8/3	1	50	20	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
10				共催公開講座「一人で頑張りすぎないで！自我の発達とイヤイヤ期」	こども心理学部こども心理学科	利根川智子准教授	子育ての困りごとであるイヤイヤ期について理解し、その対応などを学ぶ。	対面+オンライン	10/7	1	40	12	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
11				共催公開講座「教科書には書かれていない歴史を学ぶ 中級古文書講座」	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	山崎善弘准教授	初級に続いての第2弾の講座。百姓一揆の古文書を通して、江戸時代の人々の暮らしやその仕組みを知り現代社会を見直す。	対面	2/21、28	2	40	33	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
12				共催公開講座「残したい記憶を絵日記のように描く 記憶画講座」	こども心理学部こども心理学科	高橋文子准教授	人々の持つ記憶を地域資産ととらえ、それを記憶画として表現する講座。	対面	2/14、3/7	2	20	33	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
13				学生が提案する千住自然めぐりと健康づくり	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	森下ゼミ生木田幹太氏	学生が企画・運営・講師となるまち歩き。	対面	11/4	1	15	9	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
14				発達障がいのある学生への合理的配慮と支援	モチベーション行動科学部/こども心理学部	山極和佳教授、大橋智講師	大学からニーズのあった「合理的配慮」をテーマとして設定。東京未来大学における合理的配慮の支援の流れと就学支援について、同学教授と講師により講義。その後は、グループごとに講師も交えて意見交流を実施。	対面	9/26	1	15	19	—	福祉部	障がい福祉センター
15		帝京科学大学	大学生	動物看護コース学生の見学実習	生命環境学部アニマルサイエンス学科	並木美佐子教授	飼育上の留意点、動物園の役割、教育活動紹介などについて紹介。	対面	5/29、6/12、6/26、7/3	4	—	100	—	都市建設部道路公園整備室	パークイノベーション推進課
16				出張授業	教育人間科学部幼児保育学科	木場有紀准教授	小学校でのチョウの飼育体験。	対面	7/18	1	—	30	—	都市建設部道路公園整備室	パークイノベーション推進課
17				動物看護コース学生の見学実習	生命環境学部アニマルサイエンス学科	並木美佐子教授	飼育上の留意点、動物園の役割、教育活動紹介などについて紹介。	対面	9/20	1	—	15	—	都市建設部道路公園整備室	パークイノベーション推進課
18				団体対応	生命環境学部アニマルサイエンス学科	野田英樹准教授	大学3年生に向けて生物園の成り立ちと活動について説明。	対面	9/20	1	—	15	—	都市建設部道路公園整備室	パークイノベーション推進課
19			全区民	皆援隊講座「犬や猫と幸せに暮らすまちづくり」	生命環境学部アニマルサイエンス学科	小泉洋子非常勤講師	犬や猫との幸せな共生に向けて必要なことを学び、動物愛護分野での地域活動の参画を目的とした講座。区内で活動するNPO法人の理事であり、大学でも教鞭を取られるなど専門的知識がえられるため、講師を依頼した。	対面	9/29	1	対面20名 オンライン20名	24	—	政策経営部あだち未来支援室	協働・協創推進課
20				動物愛護講習会「犬・猫としあわせに暮らし続けるために」第3回テーマ「災害からペットを守る」	生命環境学部アニマルサイエンス学科	山本和弘教授	帝京科学大学との連携事業の一環。コロナ禍により令和元年度以降は中断していたが、令和5年度から再開した。	対面	12/21	1	40	30	—	衛生部足立保健所	生活衛生課

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	部・室	課
21	講座	帝京科学大学	全区民	あだちどこでも大学「知らなかった！人権の本質とその未来を考える」	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授学科長	佐野地域学習センターで開催したあだちどこでも大学のコーディネート。	対面+オンライン	12/14	1	50	16	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
22			全区民（16歳以上）	共催公開講座「睡眠の科学から良質な睡眠の獲得へ」	総合教育センター	小林亮太講師	睡眠不足の弊害と定義、良質な睡眠とは、その対応策などを学ぶ。	対面+オンライン	9/28	1	60	49	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
23				共催公開講座「整形外科医が教える上手な体の使い方」	医学教育センター	渡會公治特任教授	身体的情砂使い方を学び日々実践することで、体に負担をかけず楽に動かせることを実践と座学を通して学ぶ。	対面	10/5、11/2、2/1	3	40	76	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
24			—	スポーツ指導者スキルアップ講習会 運動機能向上のためのトレーニング（高齢者の運動指導）	医療科学部東京理学療法学科	村上憲治教授	加齢に伴う体の変化や、効果的な運動などを学ぶ。 高齢者を指導する地域のスポーツ指導者や高齢者に関わる活動に携わる方等を対象とした運動指導の実践講習会。 区スポーツ振興課受託事業。	対面	2/24	2	30	23	—	生涯学習振興公社	学習事業部
25		東京電機大学	小学生	ChatGPT AIを使って大学生とウェブサイトを作ってみよう！	ボランティア部らいふ	—	大学生が企画運営する講座、AIを使ってウェブサイトを作る。	対面	8/8	2	各10	23	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
26				科学・ものづくり体験教室	工学部自然科学系列/応用化学科/先端機械工学科/先端科学技術研究科/未来科学部情報メディア学科/電気電子システム工学専攻/工学部電子システム工学科	田中里美講師/保倉明子教授/鈴木孝宗講師/小林宏史教授/津國和泉博士研究員/池田雄介教授/長澤光晴教授/井上竜ノ介助手/佐々木元氣/五十嵐洋教授	自宅で動画をみながら、科学&ものづくり体験。複数のコースから好きな1コースを選んで体験する。	オンライン	8月	1	220	220	534,021	学校運営部	青少年課
27			小中学生	関原の森・愛恵まちづくり記念館指定管理者事業「夏休みキッズ模型講座」	未来科学部建築学科	都市計画研究室学生	子どもを対象に住環境教育や建物作りを学ぶワークショップ。 講座名は「親子で挑戦！建築模型づくり！」。研究室を通じて依頼した学生が参加。	対面	7/29	1	16	11	—	都市建設部建築室	建築防災課
28			全区民（16歳以上）	「浅読み」のススメ 深読みしすぎないコミュニケーション論	理工学部理工学科	小林春美特定教授	コミュニケーションを学ぶ。	対面+オンライン	6/22	1	40	51	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
29				電大イブニングセミナー日本の伝統を未来につなぐ現代音楽における能声楽	—	—	能の謡の唱法で西洋現代音楽の演奏活動を行う能声楽家 青木涼子氏を講師に招いた講演会。	対面	11/22	1	100	69	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
30				電大de学びピアノコンサート バイオリンとチェロの調べ	—	—	出前コンサート。出演者はおたまじゃくしクラブ yumi&yumi。	対面	8/31	1	100	107	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
31				あだちどこでも大学「今学びたい！移動通信技術の進化 未来のサイバー社会像」	—	宮保憲治名誉教授	梅田地域学習センターにおけるあだちどこでも大学の開催。	対面+オンライン	3/13	1	60	32	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
32				産学連携技術促進事業「高齢者・障がい者を支援するものづくりのテクノロジーとその実用化について」	工学部機械工学科	井上淳教授	人間支援工学の観点から、ビジネスへの活用を学ぶ。	対面	11/22、29	2	40	27	—	産業経済部	企業経営支援課
33				産学連携技術促進事業「災害から安心安全を確保する企業必見の防災テクノロジーを学ぶ」	レジリエントスマートシティ研究所	小林亘特別専任教授 他	防災についての見識を広げ、新たな製品や事業に展開するきっかけを作る。	対面	6/27、7/4	2	40	22	—	産業経済部	企業経営支援課
34				産学連携技術促進事業「電大の面白い研究室を見学してビジネスのヒントを得よう！」	医用電子回路研究室	植野彰規教授 他	大学の様々な研究に触れて、ビジネスのヒントを得る。	対面	2/13	1	30	14	—	産業経済部	企業経営支援課
35		文教大学	小中学生	夏休みスペシャル！小中学生ナマガくん広場	人間科学部人間科学科	二宮雅也教授ゼミ	大学生が運営する子ども向けの居場所。	対面	8/4、11、17、18、21、25、28	7	20	203	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
36			大学生	サービ斯拉ーニング	国際学部国際理解学科	渡邊三津子准教授	大学生が地域のNPO等が実施する活動に参加し、コミュニティをベースとした実際の課題への対処、自らできることを活動を通して学ぶ。	対面	通年	—	—	—	—	政策経営部あだち未来支援室	協働・協創推進課
37				オリエンテーション	国際学部国際理解学科	孫美幸准教授	・講義が多文化社会と共生をテーマにしているが、生き物同士の共生や、人と自然に対する共生に気付くきっかけにしたい。 ・新入生のオリエンテーション。グループ活動を通じて、学生間コミュニケーションの機会を与える。	対面	5月	1	—	110	—	都市建設部道路公園整備室	パークインベーション推進課

②講座
帝京科学大学・東京電機大学・文教大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への 支払額	部・室	課
38	講座	文教大学	大学生	団体対応	国際学部国際理 解学科	孫美幸准教授	ゼミ単位における生物園視察。	対面	6/19	1	—	4	—	都市建設部道 路公園整備室	パークイノ ベーション推 進課
39			全区民 (16歳以上)	あだちどこでも大学 「ニュースだけでは分 からない『オーバーツー リズム』」	国際学部国際観 光学科	中井治郎専任講師	花畑地域学習センタ ーで開催したあだち どこでも大学講座の コーディネート。	対面+オン ライン	11/30	1	45	53	—	地域のちから推 進部 生涯学習支援 室	生涯学習支 援課
40				なぜ名字・地名は漢 字二 字が多いの？	地域連携センタ ー	早川明夫講師	名字や地名の歴史を 学ぶことで、身近な ものにも歴史がある ことを知り、その面 白さを知る講座。	対面	3/2	1	50	49	—	地域のちから推 進部 生涯学習支援 室	生涯学習支 援課

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	部・室	課	
1	委員	放送大学	—	足立区統合電話センター運営評価委員会	教養学部情報コース	中谷多哉子教授	令和6年1月～9月分の業務について、事業運営が適正にされているかどうか評価を実施し、助言者として出席いただいた。	対面	11/11	1	—	—	—	政策経営部	区民の声相談課	
2		東京藝術大学		足立区文化芸術劇場運営評価委員会	音楽学部音楽環境創造科/大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	芸術劇場の施設運営を円滑に推進するため、シアター1010指定管理者の評価	対面	12/9、1/20	2	10	10	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	地域文化課	
3		東京未来大学		足立区ギャラクシティ指定管理者選定審査会	こども心理学部こども心理学科	渡辺千歳教授	ギャラクシティの施設運営を円滑に推進するため、足立区こども未来創造館及び足立区西新井文化ホール指定管理者の選定。	対面	7/24、8/26	2	10	10	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	地域文化課	
4				パラスポーツ推進協議会	子ども心理学部こども心理学科	藤後悦子教授	パラスポーツの推進について審議又は調査を行い、スポーツを通じた共生社会を実現することを目的に設置。	対面	5/27、9/30、12/17、3/28	4	26	83	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	スポーツ振興課	
5				子ども支援専門部会特別部会員	こども心理学部こども心理学科	小谷博子准教授	子ども支援専門部会の特別部会員。	対面	7/23、10/17、12/19、2/13	4	—	72	—	子ども家庭部	子ども政策課	
6				居場所を兼ねた学習支援事業委託プロポーザル選定委員	こども心理学部こども心理学科	小林久美教授	プロポーザル選定委員会の学識委員(委員長)。令和元年度から継続的に就任いただいている。	対面	8/21、10/15、12/18	3	—	20	—	福祉部足立福祉事務所	生活支援推進課	
7				帝京科学大学	子育てサロン委託事業者選定委員会	教育人間科学部幼児保育学科	旦直子教授	新規開設する子育てサロンの運営委託事業者の選定。	対面	10/7、11/21、1/22	3	—	30	—	地域のちから推進部	住区推進課
8				東京電機大学	千住大橋駅前用地活用事業者選定委員	未来科学部建築学科	日野雅司准教授	千住大橋駅前用地を活用する事業者を選定するための選定委員会の有識者委員。	対面	9/30、12/24、2/27	3	5	15	—	都市建設部	まちづくり課
9		関原の森・愛恵まちづくり記念館指定管理選定等審査会(評価)			未来科学部建築学科	菅原大輔准教授	指定管理の前年度業務の審査。	対面	8/2	1	—	6	—	都市建設部建築室	建築防災課	
10		足立区情報公開・個人情報保護審議会委員			システムデザイン工学部情報システム工学科	松井加奈絵准教授	情報公開制度及び個人情報保護制度の重要事項に関して区長からの諮問を受けて答申する。	対面	7/10、3/24	2	—	—	—	政策経営部	区政情報課	
11		足立区個人情報保護評価委員会専門アドバイザー			システムデザイン工学部情報システム工学科	松井加奈絵准教授	業務委託の安全管理措置が十分であるか評価する。	オンライン	4/18、5/23、6/20、9/20、10/21、11/20、12/19、1/28、2/28、3/26	10	—	—	—	政策経営部	区政情報課	
12		プラスチック分別回収事業実施に伴う資源化委託プロポーザル選定委員			未来科学学部建築学科	百田真史教授	中間処理施設についての選定会の学識委員。環境審議会副会長。	対面	1/20、3/12、3/27	3	5	15	—	環境部	足立清掃事務所	
13		文教大学			災害用備蓄包括管理委託事業プロポーザル	経営学部	客員教授 定野 司	災害用備蓄包括管理を委託する事業者を選定する。	対面	5/17、8/9、9/10	3	—	21	—	危機管理部総合防災対策室	災害対策課
14				足立区起業家支援塾プロポーザル選定委員会委員	経営学部経営学科	鈴木誠教授	足立区起業家支援塾(創業者対象のセミナー)についての選定委員会の学識委員。	対面	11/14、1/16、2/13	3	—	15	—	産業経済部	企業経営支援課	
15				創業プランコンテスト選考委員会	経営学部経営学科	鈴木誠教授	創業プランコンテスト採択者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	6/13～28、7/22	2	—	10	—	産業経済部	企業経営支援課	
16				創業支援施設入居者選考委員会	経営学部経営学科	鈴木誠教授	創業支援施設入居者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	7/1、3/27	2	—	8	—	産業経済部	企業経営支援課	
17				新製品・新事業開発補助金選考委員	経営学部経営学科	田中克昌准教授	新製品・新事業開発補助金の採択者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	7/1、26	2	—	—	—	産業経済部	企業経営支援課	
18				関原の森・愛恵まちづくり記念館指定管理選定等審査会(選定)	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	指定管理業者の選定。	対面	7/8、8/21、9/5	3	—	18	—	都市建設部建築室	建築防災課	
19				文教大学外部評価委員会	—	—	区職員が大学の外部評価員として、教学全般に関する事項その他を評価する。	書面	—	1	—	—	—	政策経営部	シティプロモーション課	
20				千住エリアデザイン基礎調査業務委託事業者プロポーザル選定委員会	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	千住に望ましいエリアデザイン計画策定に向けた事業者選定のため。	対面	6/18、7/30、9/24	3	—	15	—	政策経営部エリアデザイン推進室	エリアデザイン計画担当課	
21				足立区外へ向けたシティプロモーション支援業務委託プロポーザル選定委員会	国際学部国際観光学科	中井治郎専任講師	足立区外へ向けたシティプロモーション支援業務委託プロポーザル選定委員会。	対面	3/5	1	—	5	—	政策経営部	シティプロモーション課	
22				足立区区政資料室デジタルアーカイブ推進委員会	情報学部情報社会学科	西川和専任講師	区政資料室が所蔵する行政資料のデジタル化およびホームページ公開の検討。	オンライン	5/29、7/3、9/6、10/30、1/29、3/14	6	—	—	—	政策経営部	区政情報課	
23				あだち子どもの未来応援基金審査会	国際学部国際理解学科	山田修嗣教授	あだち子どもの未来応援基金審査会の委員(会長)。	対面	6/3、11/11	2	—	10	—	政策経営部あだち未来支援室	子どもの貧困対策・若年者支援課	
24				ひとり親家庭交流事業「サロン豆の木」運営業務委託事業者評価委員	国際学部国際理解学科	山田修嗣教授	次年度の契約更新可否を審議するために実施。オブザーバー(学識経験者)として出席していただくため、大学連携担当を通して先生に依頼。	対面	11/14	1	—	5	—	福祉部	親子支援課	
25		放送大学/千葉大学		足立区基本計画審議会	—	宮本みち子名誉教授	足立区基本計画の策定に関し必要な事項を調査審議する。	対面	6/10、9/4	2	—	—	—	政策経営部	基本計画担当課	
26		東京藝術大学/東京未来大学/文教大学		足立区ギャラクシティ運営評価委員会	こども心理学部こども心理学科/音楽学部/教育学部学校教育課程	渡辺千歳教授/伊志嶺絵里子非常勤講師/山縣朋彦教授	ギャラクシティの施設運営を円滑に推進するため、足立区こども未来創造館及び足立区西新井文化ホール指定管理者の評価。	対面	10/15、10/22	2	10	12	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	地域文化課	
27		東京藝術大学/東京電機大学		足立ブランド認定選考委員	美術学部デザイン科/工学部先端機械工学科	長濱雅彦教授/清水康夫教授/森田晋也教授	足立ブランド認定に係る選考委員。	対面	12/16、1/29、2/3、2/19、2/27	5	—	—	—	産業経済部	産業振興課	

③委員
放送大学・東京藝術大学・東京未来大学・帝京科学大学・東京電機大学・文教大学・複数大学

③委員
複数大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への 支払額	部・室	課
28	委員	東京未来大学/帝 京科学大学	—	評議員会	こども心理学部こ ども心理学科/教 育人間科学部学 校教育学科	小谷博子准教授/持 田尚准教授	公益財団法人足立区スポーツ協会における評議員(学識)。	対面	6/18、2/27	2	12	18	—	—	スポーツ協会
29				足立区子ども施設指定管 理者等選定審査会	こども心理学部こ ども心理学科/教 育人間科学部幼 児保育学科	佐々木由美子教授/ 富岡麻由子准教授	足立区子ども施設指定管理者等選定審査会の学識委員。	対面	7/31、8/6、7、 10/11	4	—	27	—	子ども家庭部	子ども政策課
30		東京電機大学/文 教大学		公益信託あだちまちづくり トラスト運営委員会	システムデザイン 工学部情報システ ム工学科/国際学 部国際観光学科	松井加奈絵准教授/ 清水麻帆准教授	公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会において、助成の給付対象、給付額および給 付方法等の決定を行う。	対面	7/25、11/22、2/12	3	11	76	—	都市建設部	まちづくり課
31				・宮城小学校施設更新に 伴う設計等業務委託プロ ポーザル選定委員会	未来科学部建築 学科 人間科学部人間 科学科	土田寛 教授 大島隆代 准教授	プロポーザル選定委員会の学識委員	対面	7/12、11/15 1/15、2/19	4	5	19	—	学校運営部	学校施設管 理課

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への 支払額	部・室	課
1	会議	東京藝術大学	—	あだち区展2024図工・美術部門審査会	美術学部油画専攻	小瀬村真美准教授	外部審査員として、図工・美術部門出品作品から入賞作品を選考する。	対面	6/17	1	5	5	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	地域文化課
2				あだち区展2024絵画部門審査会	社会連携センター	栗原良彰特任准教授	外部審査員として、絵画部門出品作品から入賞作品を選考する。	対面	6/16	1	3	3	—	地域のちから推進部生涯学習支援室	地域文化課
3				東京未来大学	足立区公契約等審議会	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	田中真奈美教授	足立区公契約条例に基づき入札及び契約手続の運用状況等について調査・審議を実施する。	対面	7/5、12/6、2/12	3	4	11	—	総務部
4		常東あんしん拡大推進会議運営委員会			エンrollment・マネジメント局	青柳武史アドミッションオフィサー	住民と事業所代表者との打ち合わせ（推進会議の前）。	対面	6/12、7/12、10/31、12/11、2/14	5	—	50	—	福祉部高齢者施策推進室	高齢者地域包括ケア推進課
5		常東あんしん拡大推進会議			エンrollment・マネジメント局	青柳武史アドミッションオフィサー	住民と事業所代表者との打ち合わせ。	対面	8/30	1	—	50	—	福祉部高齢者施策推進室	高齢者地域包括ケア推進課
6		教育利用研究会「小学校」			こども心理学部こども心理学科	小林祐一准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。引き続き新規プログラムの開発を行う。	対面	7/11、2/20	2	8	14	—	都市建設部道路公園整備室	パークイノベーション推進課
7		ぼうけんあそび運営相談			こども心理学部こども心理学科	横畑泰希准教授	ぼうけんあそびの運営についてアドバイスをいただく。	オンライン	11/22	1	—	2	—	都市建設部道路公園整備室	パークイノベーション推進課
8		東京未来大学外部評価委員会			—	—	区職員が大学の外部評価員として、大学の理念・目的に関する事項その他を評価する。	対面	12/9	1	—	—	—	政策経営部	シティプロモーション課
9		足立区地域自立支援協議会			こども心理学部こども心理学科	小谷博子准教授	足立区地域自立支援協議会の学識委員 こども部会会長として、本会議およびこども部会に出席。	対面	6/7、6/25、10/3、2/20、27	5	—	99	—	福祉部	障がい援護課
10		帝京科学大学		足立区ペット防災対策アドバイザー	生命環境学部アニマルサイエンス学科	教授 山本 和弘	ペット防災対策の取組を効果的に行うため、ペット防災対策や防災行政について必要な助言等を行う。また、防災に関する講演・講話を行う	対面	1/31	1	—	5	—	危機管理部総合防災対策室	災害対策課
11				教育利用研究会「幼稚園・保育園」	教育人間科学部幼児保育学科	木場有紀准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。引き続き新規プログラムの開発を行う。	対面	7/9、12/3	2	7	13	—	都市建設部道路公園整備室	パークイノベーション推進課
12				教育利用研究会「中学校」	教育人間科学部幼児保育学科	高橋文子准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。引き続き新規プログラムの開発を行う。	オンライン	10/29	2	7	7	—	都市建設部道路公園整備室	パークイノベーション推進課
13		文教大学		足立区駅前滞留者対策アドバイザー	経営学部	客員教授 定野 司	駅前滞留者対策の取組を効果的に行うため、必要な助言等を行う。	対面	12/6、3/13	2	—	100	—	危機管理部総合防災対策室	災害対策課
14				経済活性化会議	経営学部経営学科	鈴木誠教授	足立区経済活性化基本条例第8条に基づき設置される区長の附属機関。経済活性化基本計画に関する調査・審議を行う。	対面	8/5、1/30	2	16	25	—	産業経済部	産業政策課
15				生活指導担当者連絡会	教育学部発達教育課程	会沢信彦教授	生活指導の在り方について見識を高めるとともに、生活指導の諸問題について情報交換することを通して、各学校における生活指導の中心的役割を担うための資質・能力を向上させる。	対面	7/8	1	102	102	—	教育指導部	教育指導課
16				パークミーティング	—	—	桜花亭主催の地域の会議。文教大学地域連携課も出席のうえ、地域の各種イベントの情報を共有した。	対面	6/18	1	—	19	—	政策経営部	シティプロモーション課
17		放送大学/千葉大学/東京未来大学	高齢者	足立区孤立ゼロプロジェクト推進連絡会	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	宮本みち子名誉教授/高橋一公学部長/学生2名	孤立ゼロプロジェクトの推進に係る情報交換や区民の意識啓発に関し、委員として助言等を行っている。	対面	2/10	1	27	27	—	地域のちから推進部	絆づくり担当課
18		東京藝術大学/東京未来大学/帝京科学大学/東京電機大学/文教大学	大学生	大学祭等の実行委員の情報交換会	—	—	実行委員が一堂に集まり、お互いの大学祭に関して情報交換を実施。区からはあだち広報等、大学祭の周知に協力できる支援を説明した。	対面	6/18、12/16	2	—	41	—	政策経営部	シティプロモーション課
19		六大学	—	実務者会議	—	—	各大学の実務者と区で情報共有を行う。	対面	7/5、10/22、2/28	3	—	61	—	政策経営部	シティプロモーション課
20				六大学学長会議	—	—	六大学の学長と区長による会議。今回のテーマは「大学の学びを地域社会へ～切れ目のない学びの機会提供～」。	対面	8/29	1	—	55	—	政策経営部	シティプロモーション課

④会議
東京藝術大学・東京未来大学・帝京科学大学・文教大学・複数大学

⑥⑤
大実
学習
授生
業受
と入
連携

東京
東京
未来
未来
大学
大学
・帝
京科
学大
学・
文教
大学
・文
教大
学・
複数
大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	部・室	課
1	実習生受入	東京未来大学	大学生	心理実習	心理臨床センター	特任講師 石倉 篤氏	公認心理師養成課程の学生を対象に、臨床現場への理解を深めるため、当センターの心理職から担当する事業や心理職の役割等について講義および施設見学を実施。	対面	6/21	1	—	25	—	福祉部	障がい福祉センター
2				足立区インターンシップ事業	キャリアセンター	—	人事課からの依頼 学生の職業意識の向上及び足立区に対する理解を深める。	対面	8/19～23	1	1	5	—	福祉部	障がい福祉センター
3				足立区保育実習生受入れ事業	こども心理学部こども心理学科	—	保育士資格を取得するために実習を実施。	対面	6/24～2/28	12	3	36	—	子ども家庭部	子ども政策課
4		帝京科学大学		母性看護学実習	医療科学部看護学科	藤井美穂子教授	授業内で多様性社会推進課長が講義。L・フェスタに大学生が参加。	対面	11/9、10、13、19、 12/3、2/6	6	—	29	—	地域のちから推進部	多様性社会推進課
5				在宅看護学実習Ⅰ	医療科学部看護学科	福井郁子講師	内容は実習。開始した経緯は毎年受け入れし実習を行っているから。	対面	2/18～20	3	2	6	—	福祉部高齢者施策推進室	高齢者地域包括ケア推進課
6				在宅看護実習	医療科学部看護学科	福井郁子講師	臨地在宅実習。	対面	3/4～3/6	3	2	6	—	福祉部高齢者施策推進室	高齢者地域包括ケア推進課
7				在宅看護学実習Ⅰ	医療科学部看護学科	—	2年生の在宅看護学実習Ⅰのための地域包括支援センター実習。	対面	2/18～20、3/4～6	2	2	4	—	福祉部高齢者施策推進室	高齢者地域包括ケア推進課
8				社会福祉士実習	医療科学部医療福祉学科	—	社会福祉士としての必要な知識及び技術について理解を深めるための実習。	対面	8/13～9/13、11/8～12/6	2	2	4	—	福祉部	生活支援推進課
9				インターン・実習	生命環境学部アニマルサイエンス学科	—	キャリアアップのための実践的な飼育や解説体験を実施。	対面	9/16～21	5	—	5	—	都市建設部道路公園整備室	パークイノベーション推進課
10		文教大学		インターンシップ	経営学部経営学科	新井立夫教授	主権者教育事業の担い手発掘のため、令和5年度からインターンシップの受入れを開始。	対面	8/21～30	1	8	5	—	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局
11				心理実習	—	—	大学院生2名をチャレンジ学級での実習生として受け入れ。前期は実習、後期はボランティアとして1年間継続して実施。	対面	通年	1人につき40回	2	2	—	教育指導部こども支援センターげんき	教育相談課
12		東京未来大学 /文教大学		インターンシップ事業	こども心理学部こども心理学科 経営学部経営学科	—	・主に大学3年生を1週間程度、各所属に派遣し、仕事体験をしてもらう。 ・足立区の職場を体験し、働くイメージをもってもらうことで、足立区の入区希望者を増やすことが目的。	対面	8/19～8/23 8/26～8/30	1	10名程度	9	—	総務部	人事課
13				心理実習	—	—	学部生38名をこども支援センターげんきの見学実習生として受入れ。事業概要を説明した。	対面	5/13	1	38	38	—	教育指導部こども支援センターげんき	教育相談課
14		帝京科学大学/文教大学		学芸員実習	生命環境学部自然環境学科/アニマルサイエンス学科	—	博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験を実施。	対面	8/17～8/27	10	6	60	—	都市建設部道路公園整備室	パークイノベーション推進課
1	大学授業と連携	東京未来大学	大学生	地域連携Ⅰ	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	森下一成教授	実際の地域連携活動に参加し、教室での学びと教室外での実践を通して、課題解決に向けた構想力と実践力の基礎を養うことをねらいとした授業。地域活動への参加として、マッチングしたNPO団体でボランティア活動を行う。	対面	4月～8月	—	—	2	—	政策経営部あだち未来支援室	協働・協創推進課
2				医療的ケア児の疾患理解とたん吸引について	こども心理学部こども心理学科	小谷博子准教授	こども支援センターげんきと区立保育園の看護師が大学の授業において、医療的ケア児の疾患理解に関する座学、たんの吸引に関する実習を実施。	対面	11/14、15	2	—	262	—	教育指導部こども支援センターげんき	支援管理課
3		帝京科学大学		保健医療福祉行政論（地域保健における食品衛生）	医療科学部看護学科	糸井和佳教授	授業において、食品衛生行政に関する講義。担当教授からの依頼を受け、令和元年度から実施。食品監視係長による講話を実施。	対面	5/30	1	90	86	—	衛生部足立保健所	生活衛生課
4		文教大学		公共経営実地演習	経営学部経営学科	新井立夫教授	行政課題の解決提案について、グループディスカッション、担当課への質疑、相談、プレゼンテーションを行う授業。庁内複数部署がプレゼン資料の作成に協力した。	対面	通年	—	—	23	—	政策経営部	シティプロモーション課
5				大学新規採用職員向け研修	—	—	大学の新規採用職員向けの研修の一部で足立区を紹介。シティプロモーション課職員が登壇し開設した。	対面	4/26	—	—	20	—	政策経営部	シティプロモーション課
6				地域プロジェクト演習Ⅱ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	地域づくりに関する課題に対し、解決策の提案をまとめる演習で、区から課題の提供や地域団体の紹介を行った。	対面	9/19～1/16	1	—	13	—	政策経営部	シティプロモーション課
7				専門ゼミナールⅠ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	エコツーリズムの基礎を学び、フィールドワークを通して、地域デザイン技法を修得する授業。足立区の現状を区職員が解説した。	対面	6/20	1	—	10	—	政策経営部	シティプロモーション課
8				観光政策論	国際学部国際観光学科	清水麻帆准教授	観光政策について考察する授業。シティプロモーション課長がゲストとして登壇した。	対面	5/23	1	—	9	—	政策経営部	シティプロモーション課
9				地域計画特論	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	今日の地域づくりにおける将来ビジョンや計画設計技術を学ぶ授業。シティプロモーション課長が登壇し、区の事例を紹介した。	対面	12/4	1	—	8	—	政策経営部	シティプロモーション課
10				地域調査演習	国際学部国際理解学科	山田修嗣教授	区職員へのインタビューを通して、地域課題等を考える。シティプロモーション課職員が参加。	対面	12/10	1	—	4	—	政策経営部	シティプロモーション課

